

個別事項「指針の遵守」

市町村名	横浜町	評価	(要改善項目数)	【県コメント】まずはB評価に向けて指針の再確認及び改善項目を確認してください
		C	(3項目)	

別紙2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

※要改善項目が、評価A:0項目, 評価B:1項目, 評価C:2~4項目, 評価D:5項目以上

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(厚生労働省健康局長通知)に基づき、がん検診を実施する必要がある、評価が×の項目は○となるよう改善が必要です。

検診		令和6年度	
種類	方式	検査方法	評価
		対象者 検診間隔	
胃がん検診 (X線)	集団	問診・胃部エックス線検査	○
		40歳以上の男女	○
		年1回	○
	個別	問診・胃部エックス線検査	○
		40歳以上の男女	○
		年1回	○
胃がん検診 (内視鏡)	集団	—	
		—	
		—	
	個別	—	
		—	
		—	
大腸がん検診	集団	問診・便潜血検査(2日法)	○
		40歳以上の男女	○
		年1回	○
	個別	問診・便潜血検査(2日法)	○
		40歳以上の男女	○
		年1回	○

検診		令和6年度	
種類	方式	検査方法	評価
		対象者 検診間隔	
肺がん検診	集団	質問・胸部エックス線検査・喀痰細胞診	○
		40歳以上の男女(喀痰:50歳以上で喫煙指数600以上の男女)	○
		年1回	○
	個別	質問・胸部エックス線検査	×
		40歳以上の男女	(○)
		年1回	○
乳がん検診	集団	問診・乳房エックス線検査	○
		40歳以上の偶数年齢の女性	(○)
		×:2年に1回(対象年度以外は受診不可)	×
	個別	問診・乳房エックス線検査	○
		40歳以上の偶数年齢の女性	(○)
		×:2年に1回(対象年度以外は受診不可)	×
子宮頸がん検診	集団	問診・視診・内診・細胞診(液状検体法)	○
		20歳以上の偶数年齢の女性	(○)
		×:2年に1回(対象年度以外は受診不可)	×
	個別	問診・視診・内診・細胞診(液状検体法)	○
		20歳以上の偶数年齢の女性	(○)
		×:2年に1回(対象年度以外は受診不可)	×

改善が必要な事項 (評価が×の項目について)	
(X線) 胃がん検診	
(内視鏡) 胃がん検診	
大腸がん検診	
肺がん検診	・検査方法の遵守が求められる(質問、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診)
乳がん検診	・検診間隔は2年に1回であり、かつ、対象年度に未受診の場合、次年度受診できる体制が求められる
子宮頸がん検診	・検診間隔は2年に1回であり、かつ、対象年度に未受診の場合、次年度受診できる体制が求められる

出典:令和6年度がん検診に関する調査(がん・生活習慣病対策課調べ) ※評価は「指針を遵守=○」、「事業全体としては指針を遵守=(○)」、「遵守していない=×」で表しています。

個別事項「市町村チェックリスト」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号]

市町村名 **横浜町**

評価	(R5実施率平均)	【県コメント】A評価の継続に向けて事業に取り組むとともに、チェックリスト実施率100%達成に向けて、優先的に取り組む事項を確認してください
A	(98.4%)	

※実施率平均が、評価A:90%以上、評価B:80%以上90%未満、評価C:80%未満

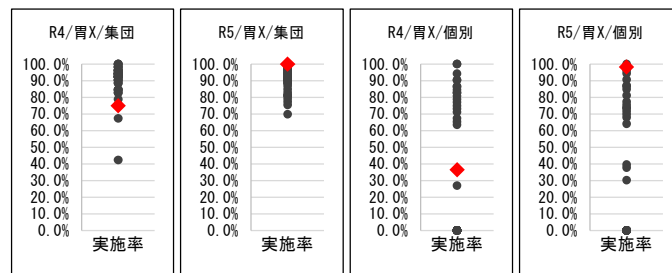
①チェックリスト実施率の状況

チェックリスト実施率は、検診で最低限整備するべき技術・体制の自己点検結果であり、100%を目指します。(グラフの◆は貴市町村、●は他市町村を表します。)

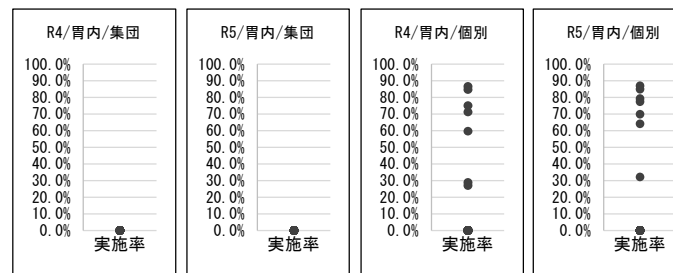
検査方法	検診方式	R4実施率	R5実施率
胃がん検診 (X線)	集団	96.2%	100.0%
	個別	100.0%	98.1%
胃がん検診 (内視鏡)	集団	—	—
	個別	—	—
大腸がん検診	集団	96.2%	100.0%
	個別	100.0%	98.1%
肺がん検診	集団	96.1%	100.0%
	個別	100.0%	91.1%
乳がん検診	集団	96.4%	100.0%
	個別	100.0%	98.1%
子宮頸がん検診	集団	96.4%	100.0%
	個別	100.0%	98.2%

優先的に取り組む必要がある事項
実施率向上にあたっては、次の項目に特に優先的に取り組んでください。
問6-2 検診機関へのフィードバック実施
—

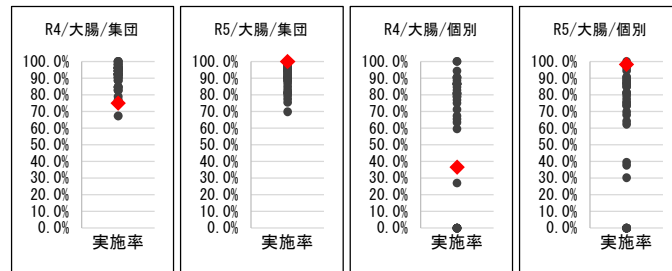
①胃がん検診 (X線) C L 実施率



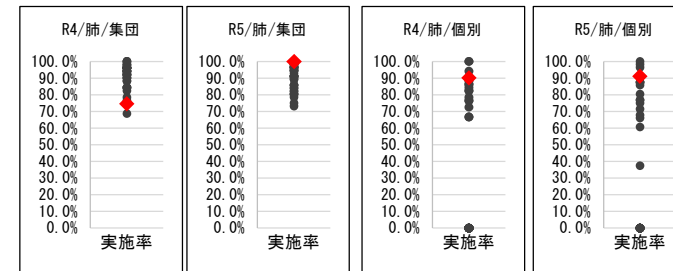
②胃がん検診 (内視鏡) C L 実施率



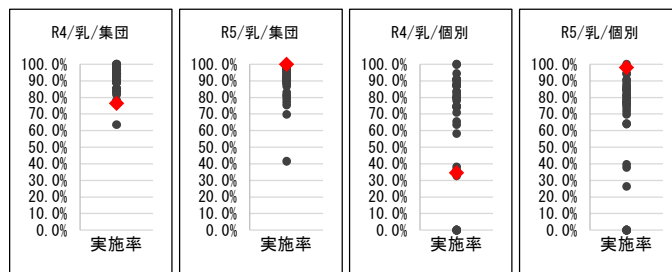
③大腸がん検診 C L 実施率



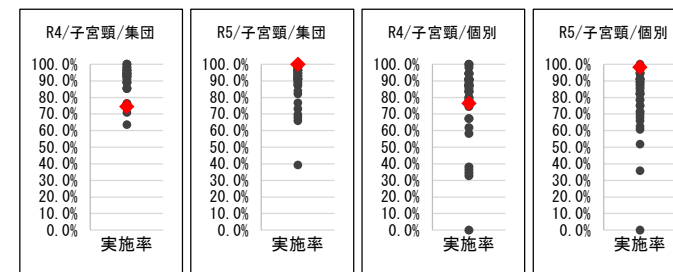
④肺がん検診 C L 実施率



⑤乳がん検診 C L 実施率



⑥子宮頸がん検診 C L 実施率



出典：各年度の事業評価のためのチェックリスト調査（国立がん研究センター、青森県がん・生活習慣病対策課）

※実施率は「○（実施）」の項目を集計したものです。また、前々年度のがん検診が未実施の場合は、問7以降が「-（非該当）」となるため実施率は低くなります。

※前々年度にがん検診を実施している場合、当該年度のがん検診が未実施でも問7以降の回答が必要なため実施率の算出が可能ですが、本資料では実施率の掲載はしていません。（「-」と表示）

個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

自治体名	横浜町
------	-----

胃がん検診（胃部X線）

プロセス指標	基準値等	横浜町	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	14.8%	10.5%	8.3%	2.8%	令和4年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.6%以下	2.6%	2.3%	2.3%	2.0%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	60.9%	75.9%	77.5%	80.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	39.1%	13.4%	8.0%	8.0%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	0.0%	10.8%	14.5%	11.3%	令和3年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.5%以上	2.0%	0.8%	1.1%	1.6%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.11%以上	0.23%	0.06%	0.09%	0.11%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(60%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

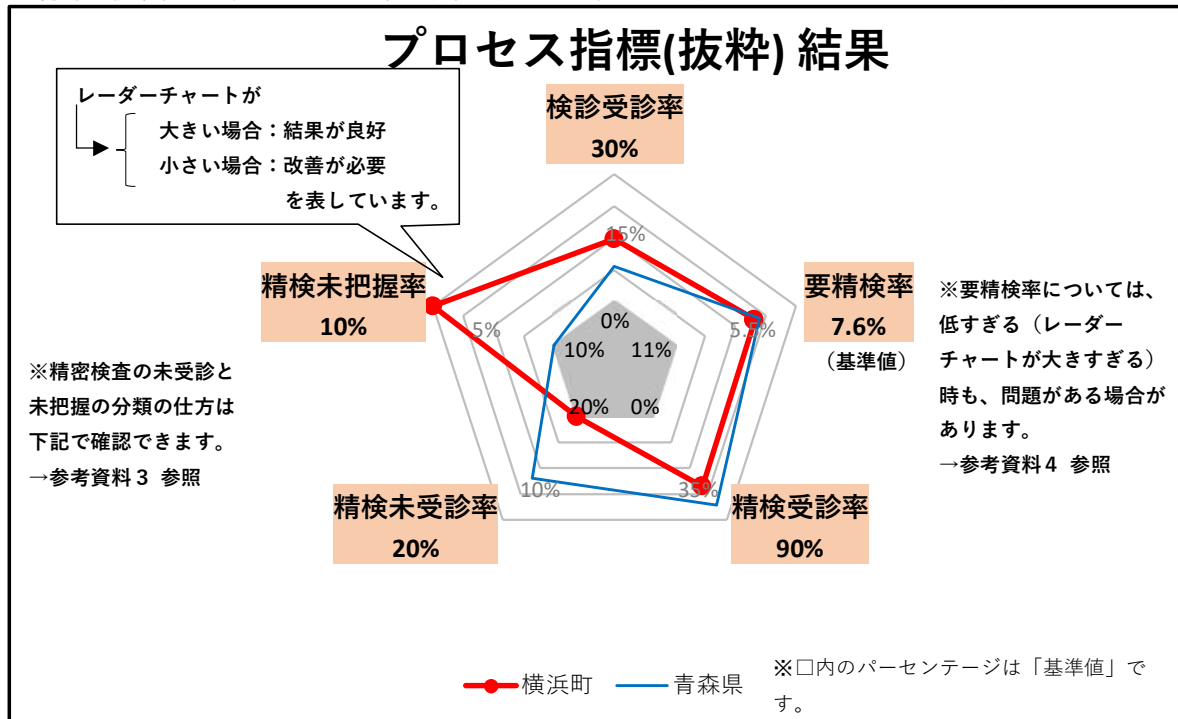
※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

※3 胃部内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

【県コメント】

<精検受診率>
 基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>
 基準値以下となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。



個別事項「プロセス指標」

自治体名 **横浜市**

胃がん検診（胃部内視鏡）

プロセス指標	基準値等	横浜市	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	—	—	0.7%	1.4%	令和4年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.7%以下	—	—	4.9%	6.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	—	—	84.9%	92.9%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	—	—	0.0%	1.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	—	—	15.1%	5.3%	令和3年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	2.5%以上	—	—	5.1%	4.0%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.19%以上	—	—	0.25%	0.28%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

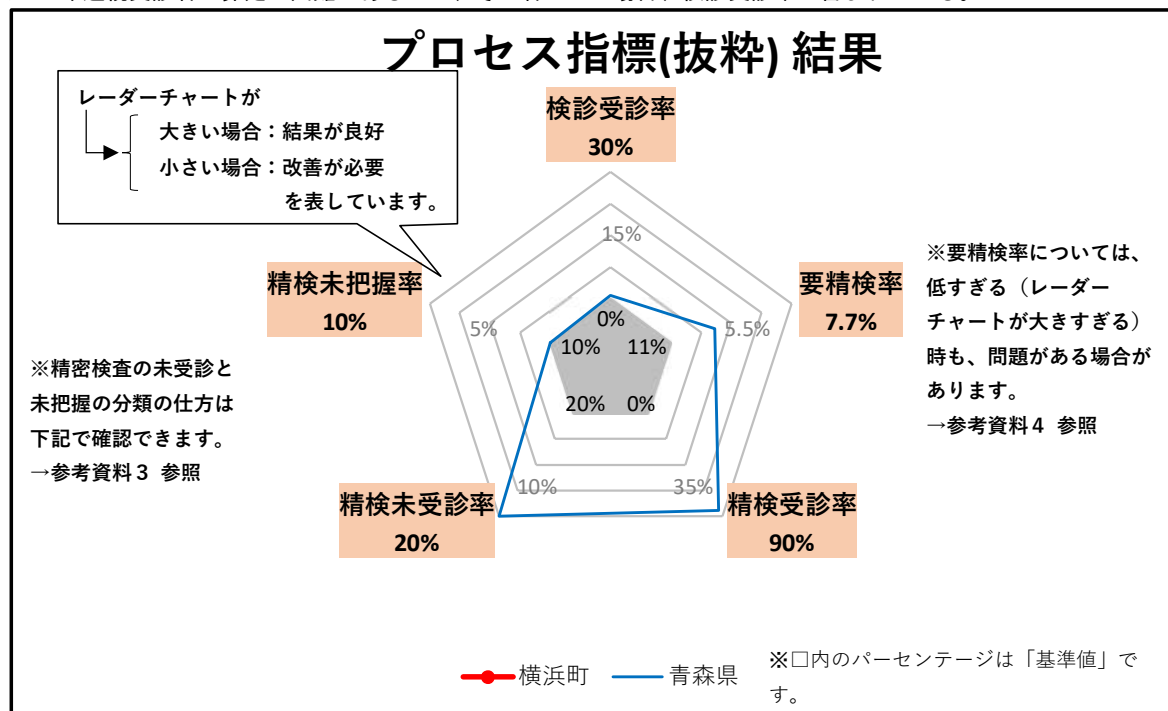
※3 2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

【県コメント】

<検診受診率>
対象年度の受診者が0人のためグラフ表示しません。

<要精検率>
対象年度の受診者が0人のためグラフ表示しません。

<精検受診率>/<精検未受診率>/<精検未把握率>
要精密検査者が0人のためグラフ表示しません。



個別事項「プロセス指標」

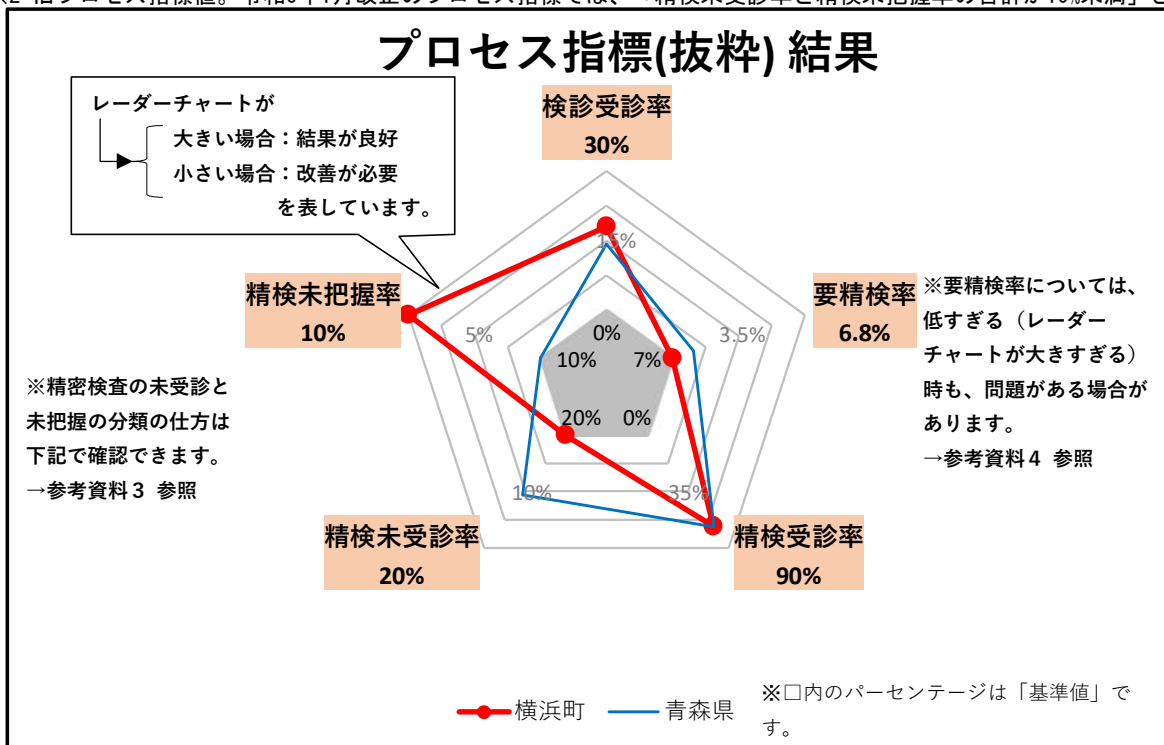
自治体名 **横浜市**

大腸がん検診

プロセス指標	基準値等	横浜市	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	18.0%	16.5%	14.3%	8.8%	令和4年度	40～74歳 男女計
要精検率	6.8%以下	9.4%	5.9%	5.7%	6.0%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	72.7%	71.3%	73.2%	71.3%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	27.3%	15.1%	9.3%	13.1%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	0.0%	13.6%	17.4%	15.6%	令和3年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	3.0%以上	0.8%	2.2%	3.1%	3.1%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.21%以上	0.07%	0.13%	0.18%	0.20%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。



【県コメント】

<要精検率>
基準値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検受診率>
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>
基準値以下となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

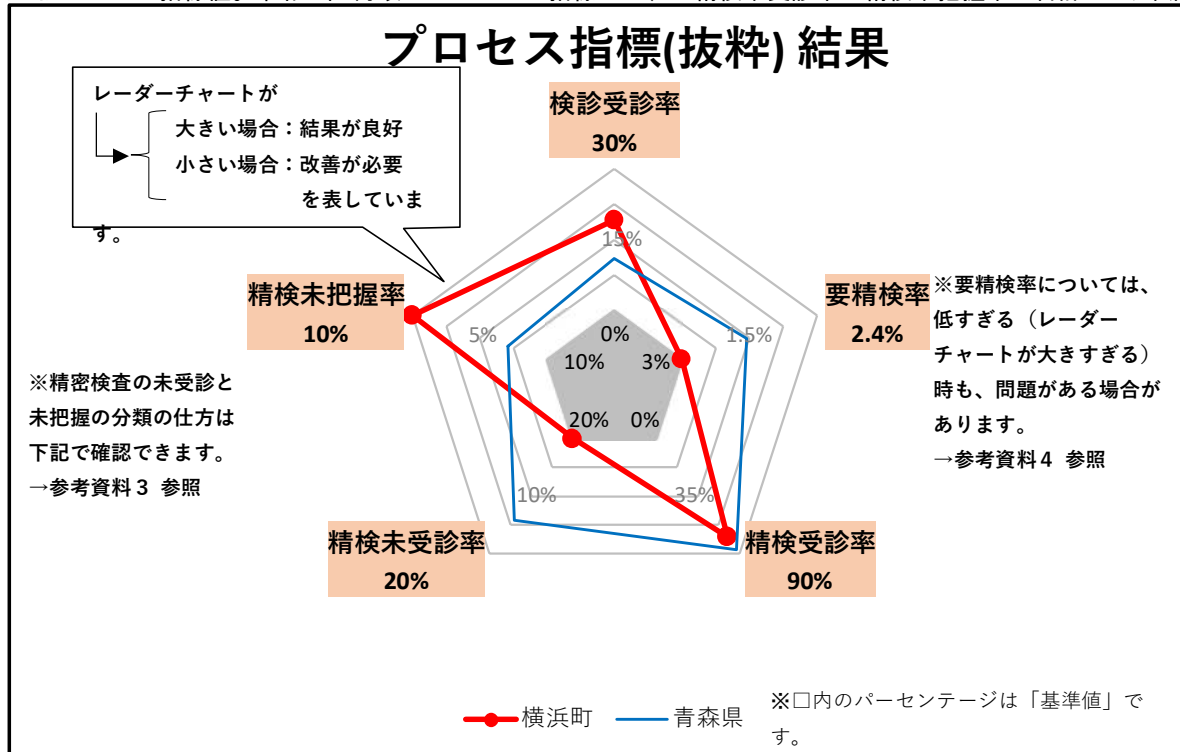
自治体名	横浜町
------	-----

肺がん検診

プロセス指標	基準値等	横浜町	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	19.1%	14.2%	11.0%	7.9%	令和4年度	40～74歳 男女計
要精検率	2.4%以下	3.1%	2.0%	1.2%	1.7%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	76.9%	79.7%	87.1%	83.2%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	23.1%	11.3%	5.8%	5.7%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	0.0%	9.1%	7.1%	11.0%	令和3年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	4.1%以上	2.6%	1.7%	3.5%	2.4%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.10%以上	0.08%	0.03%	0.04%	0.04%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。



【県コメント】

<要精検率>
基準値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検受診率>
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>
基準値以下となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **横浜市**

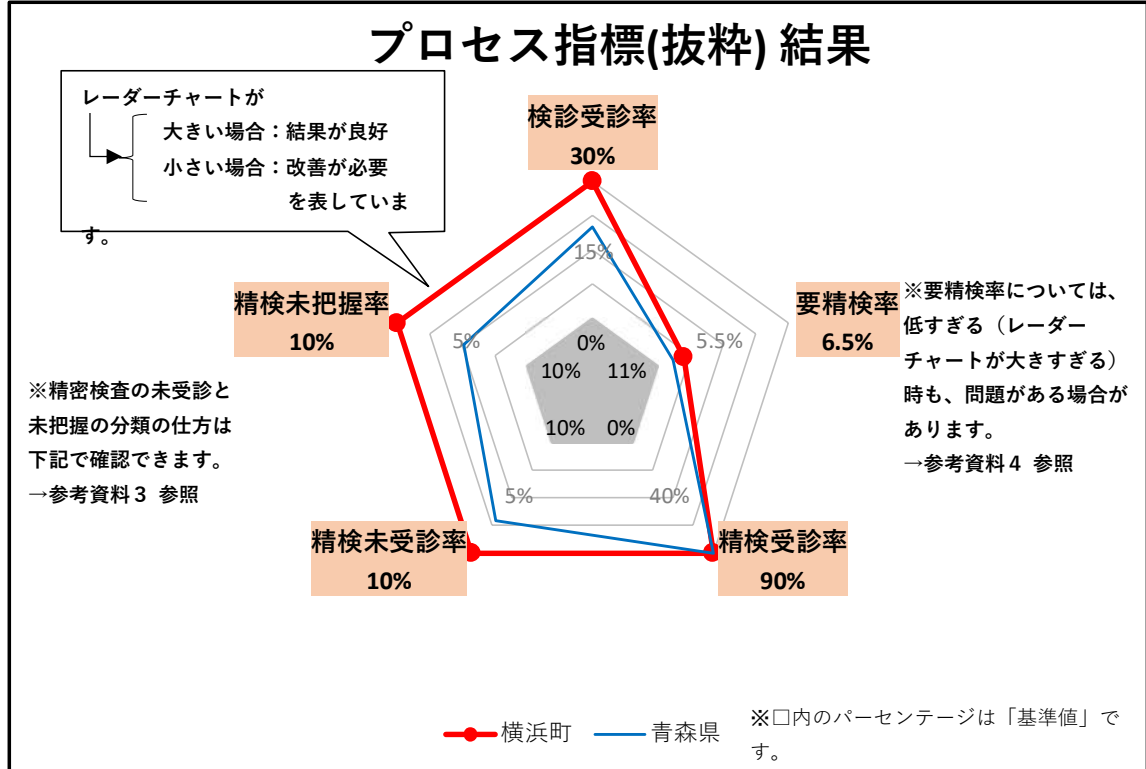
乳がん検診

プロセス指標	基準値等	横浜市	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	30.1%	30.08%	0.00%	23.8%	20.1%	16.0%	令和3~4年度	40~74歳 女性
要精検率	6.5%以下	5.2%			4.7%	5.7%	5.9%	令和3年度	40~74歳 女性
精検受診率	90%以上	100.0%			86.2%	91.9%	90.1%	令和3年度	40~74歳 女性
精検未受診率	10%以下※2	0.0%			8.0%	3.0%	2.9%	令和3年度	40~74歳 女性
精検未把握率	10%以下※2	0.0%			5.7%	5.1%	7.0%	令和3年度	40~74歳 女性
陽性反応適中度	6.1%以上	6.9%			5.6%	5.9%	5.5%	令和元~令和3年度	40~74歳 女性
がん発見率	0.40%以上	0.44%			0.28%	0.34%	0.33%	令和元~令和3年度	40~74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

【県コメント】



個別事項「プロセス指標」

自治体名

横浜町

子宮頸がん検診

プロセス指標	基準値等	横浜町	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	28.5%	15.0%	13.5%	17.1%	18.5%	15.5%	令和3～4年度	20～74歳 女性
要精検率	2.5%以下	0.7%			1.1%	1.8%	2.2%	令和3年度	20～74歳 女性
精検受診率	90%以上	50.0%			75.9%	81.3%	77.7%	令和3年度	20～74歳 女性
精検未受診率	20%以下※2	50.0%			15.5%	5.2%	6.5%	令和3年度	20～74歳 女性
精検未把握率	10%以下※2	0.0%			8.6%	13.5%	15.9%	令和3年度	20～74歳 女性
陽性反応適中度	5.9%以上※3	0.0%			6.3%	6.4%	6.6%	令和元～令和3年度	20～74歳 女性
がん発見率	0.15%以上※3	0.00%			0.09%	0.13%	0.15%	令和元～令和3年度	20～74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となる。

※3 令和6年1月改正のプロセス指標により、分子は「がんであった者(がん、AIS、CIN3であった者の和)」となった。

【県コメント】

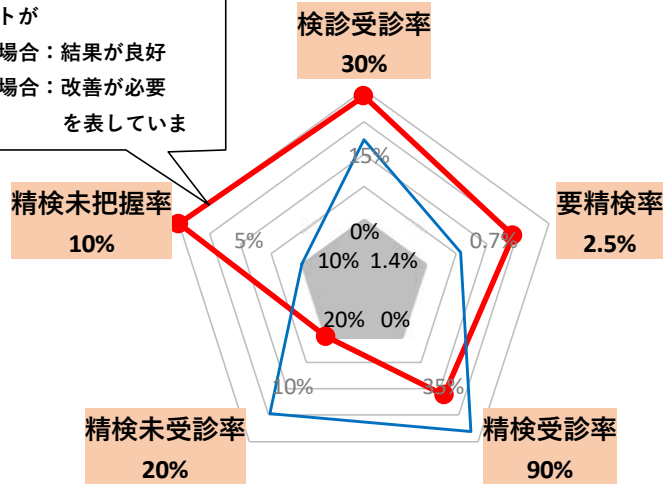
<検診受診率(受診間隔)>
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

<精検受診率>
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>
基準値以下となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。



※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

※要精検率については、低すぎる(レーダーチャートが大きすぎる)時も、問題がある場合があります。
→参考資料4 参照

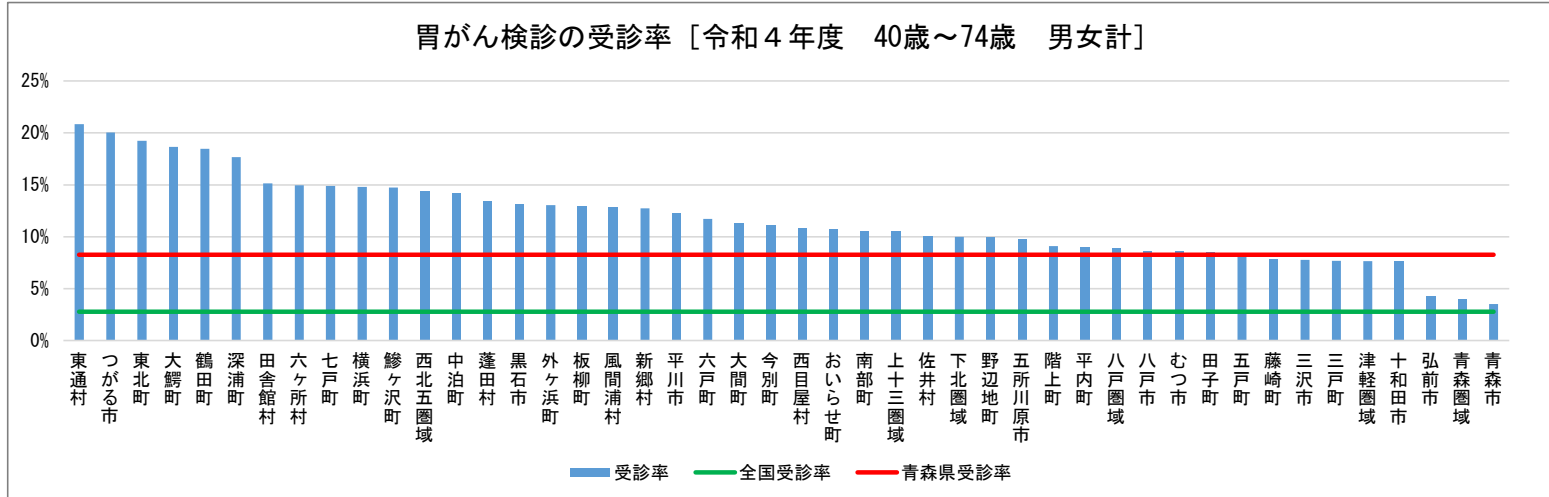
● 横浜町 ● 青森県 ※□内のパーセンテージは「基準値」で

個別事項「プロセス指標」

令和4年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	横浜市
------	-----

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



指標の意義・一般的な対策

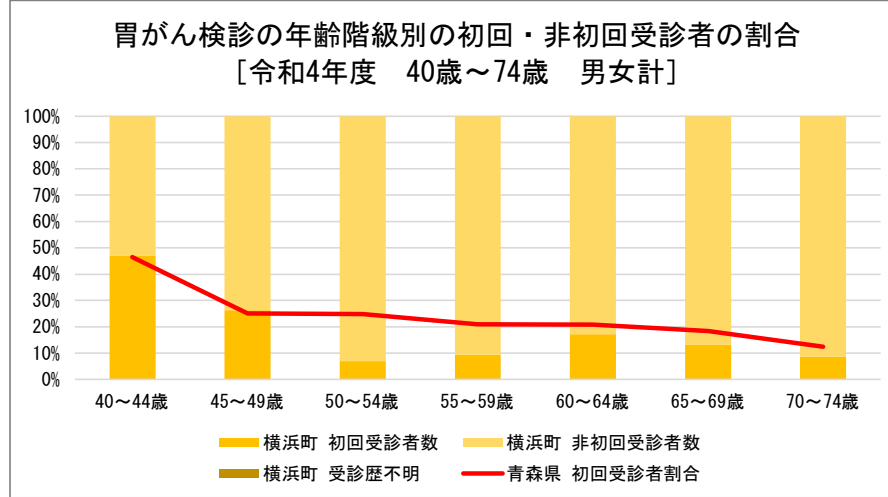
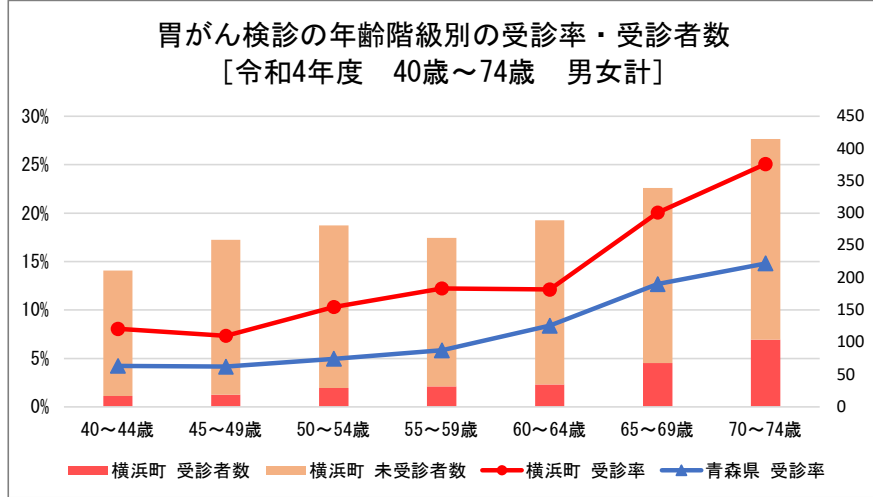
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.8%	8.3%	4.1%	7.7%	8.9%	14.4%	10.5%	10.0%	3.5%	4.3%	8.6%	13.2%	9.7%	7.6%	7.8%	8.6%	20.1%	12.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	31位	14位	28位	38位	36位	32位	2位	19位
受診者数	1,649,107	51,358	6,102	10,365	13,777	8,872	8,691	3,551	4,903	3,466	9,470	2,146	2,595	2,303	1,401	2,401	3,006	1,858
対象者数	59,203,380	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	9.0%	11.1%	13.5%	13.1%	14.7%	17.7%	10.9%	7.8%	18.7%	15.1%	12.9%	18.5%	14.2%	9.9%	14.9%	11.7%	14.8%	19.2%
順位	30位	22位	13位	15位	11位	6位	23位	35位	4位	7位	16位	5位	12位	27位	9位	20位	10位	3位
受診者数	507	130	181	381	715	684	65	566	853	560	851	1,122	750	630	1,145	629	304	1,581
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	15.0%	10.7%	11.3%	20.8%	12.8%	10.1%	7.7%	8.0%	8.5%	10.5%	9.1%	12.7%	[受診率の計算方法について]					
順位	8位	24位	21位	1位	17位	26位	37位	34位	33位	25位	29位	18位	受診者数÷対象者数=受診率					
受診者数	698	1,346	293	640	120	97	365	667	223	924	638	144	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131	※胃内内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。					

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
横浜市	対象者数	211	259	281	262	289	339	415	1,031		3,087	1,641	2,056
横浜市	受診者数	17	19	29	32	35	68	104	77	31	412	200	304
横浜市	初回受診者数	8	5	2	3	6	9	9	8	8	58	33	42
横浜市	非初回受診者数	9	14	27	29	29	59	95	69	23	354	167	262
横浜市	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	受診率	8.1%	7.3%	10.3%	12.2%	12.1%	20.1%	25.1%	10.5%		13.3%	12.2%	14.8%
青森県	対象者数	72,772	85,437	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		840,295	512,370	620,270
青森県	受診者数	3,090	3,553	4,323	4,815	7,519	12,079	15,979	10,081	6,579	68,018	35,379	51,358
青森県	初回受診者数	1,437	890	1,070	1,011	1,567	2,224	1,989	1,328	818	12,334	8,199	10,188
青森県	非初回受診者数	1,628	2,634	3,225	3,777	5,917	9,794	13,897	8,725	5,739	55,336	26,975	40,872
青森県	受診歴不明	25	29	28	27	35	61	93	28	22	348	205	298
青森県	受診率	4.2%	4.2%	5.0%	5.8%	8.4%	12.7%	14.8%	7.6%		8.1%	6.9%	8.3%

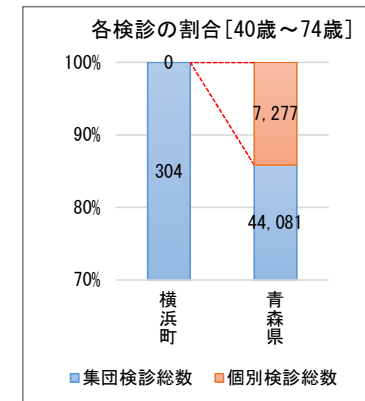
※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」（別紙4とは対象年度が異なる点に留意）

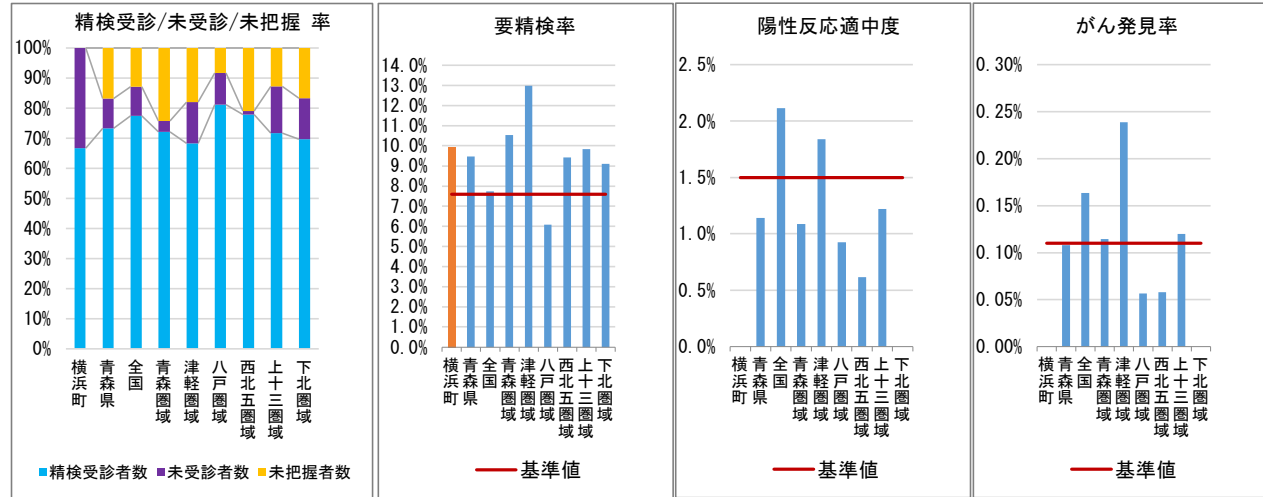
別紙4_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名 **横浜市**

1. 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	151	20,361	619,766	2,619	4,184	5,324	3,449	3,336	1,449	—
要精検者数	15	1,928	47,943	276	543	324	325	328	132	—
未把握者数	0	324	6,183	67	98	27	68	42	22	—
未受診者数	5	191	4,645	10	74	34	4	51	18	—
精検受診者数	10	1,413	37,115	199	371	263	253	235	92	—
がんであった者	0	22	1,014	3	10	3	2	4	0	—
要精検率	9.9%	9.5%	7.7%	10.5%	13.0%	6.1%	9.4%	9.8%	9.1%	7.6% 以下
精検受診率	66.7%	73.3%	77.4%	72.1%	68.3%	81.2%	77.8%	71.6%	69.7%	90% 以上
未受診率+未把握率	33.3%	26.7%	22.6%	27.9%	31.7%	18.8%	22.2%	28.4%	30.3%	10% 以下
陽性反応適中度	0.0%	1.1%	2.1%	1.1%	1.8%	0.9%	0.6%	1.2%	0.0%	1.5% 以上
がん発見率	0.00%	0.11%	0.16%	0.11%	0.24%	0.06%	0.06%	0.12%	0.00%	0.11% 以上

※要精検率のプロセス指標について、受診間隔は1年間隔のものである。

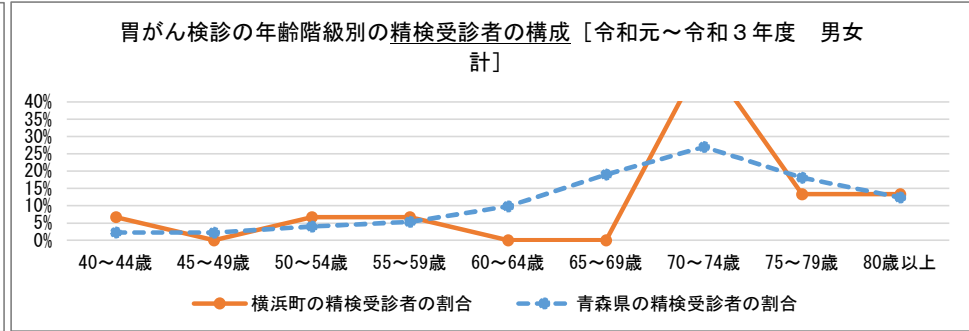
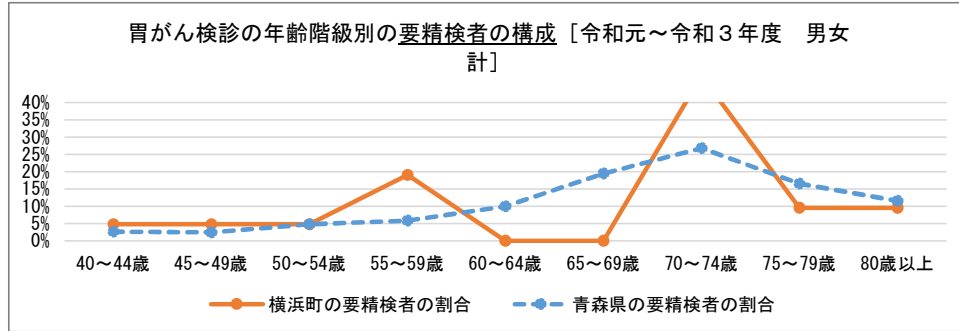
指標の意義・一般的な対策

精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数
(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

自治体名 横浜市

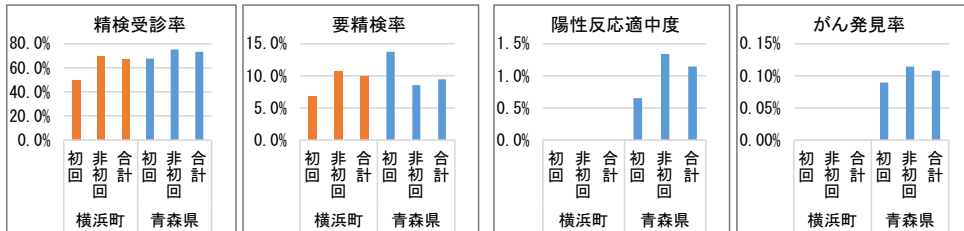
2. 胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率【令和元～令和3年度 男女計】>

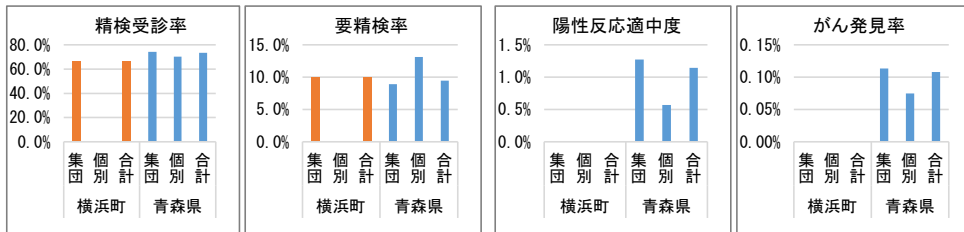
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
横浜市	要精検者数	1	1	1	4	0	0	10	2	21	17
横浜市	精検受診者数	1	0	1	1	0	0	8	2	15	11
横浜市	精検受診率	100.0%	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	80.0%	100.0%	71.4%	64.7%
青森県	要精検者数	76	71	137	168	288	562	773	477	2,886	2,075
青森県	精検受診者数	49	48	87	115	213	412	586	393	2,172	1,510
青森県	精検受診率	64.5%	67.6%	63.5%	68.5%	74.0%	73.3%	75.8%	82.4%	80.5%	75.3%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別のプロセス指標【令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計】>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市	初回	29	2	1	0	6.9%	50.0%	0.0%
横浜市	非初回	122	13	9	0	10.7%	69.2%	0.0%
横浜市	合計	151	15	10	0	9.9%	66.7%	0.0%
青森県	初回	3,346	461	312	3	13.8%	67.7%	0.7%
青森県	非初回	16,617	1,422	1,067	19	8.6%	75.0%	1.3%
青森県	合計	20,361	1,928	1,413	22	9.5%	73.3%	1.1%

<胃がん検診（胃部X線）の検診方式別のプロセス指標【令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計】>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市	集団検診	151	15	10	0	9.9%	66.7%	0.0%
横浜市	個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
横浜市	合計	151	15	10	0	9.9%	66.7%	0.0%
青森県	集団検診	17,684	1,577	1,167	20	8.9%	74.0%	1.3%
青森県	個別検診	2,677	351	246	2	13.1%	70.1%	0.6%
青森県	合計	20,361	1,928	1,413	22	9.5%	73.3%	1.1%

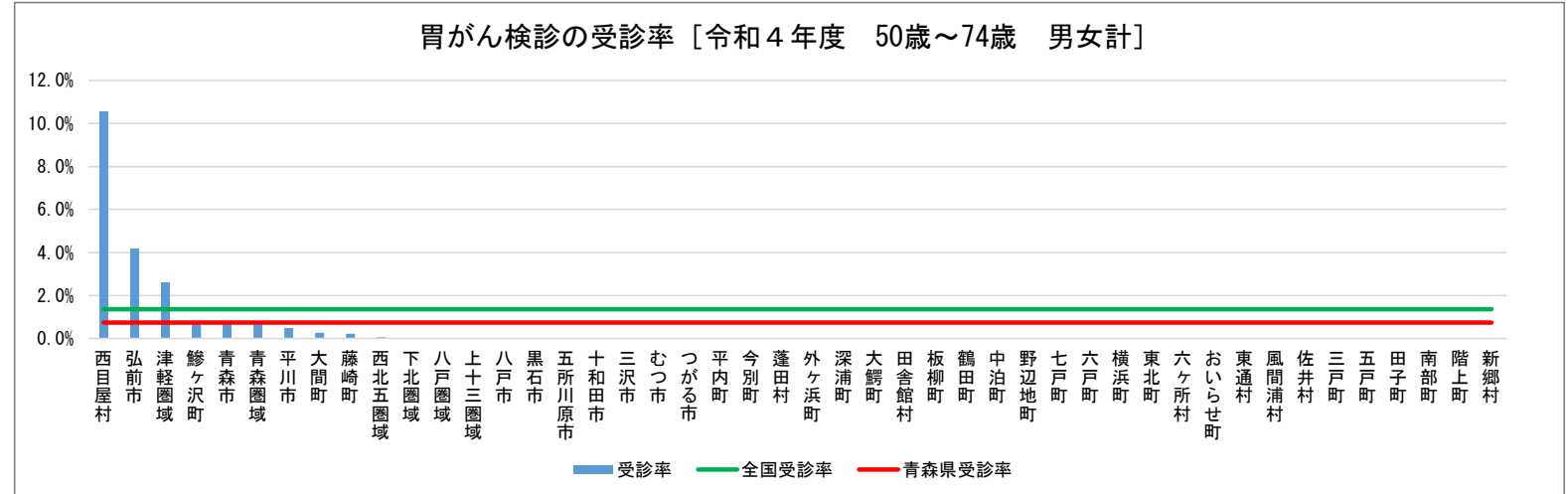
(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

令和4年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率－

自治体名 **横浜町**

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

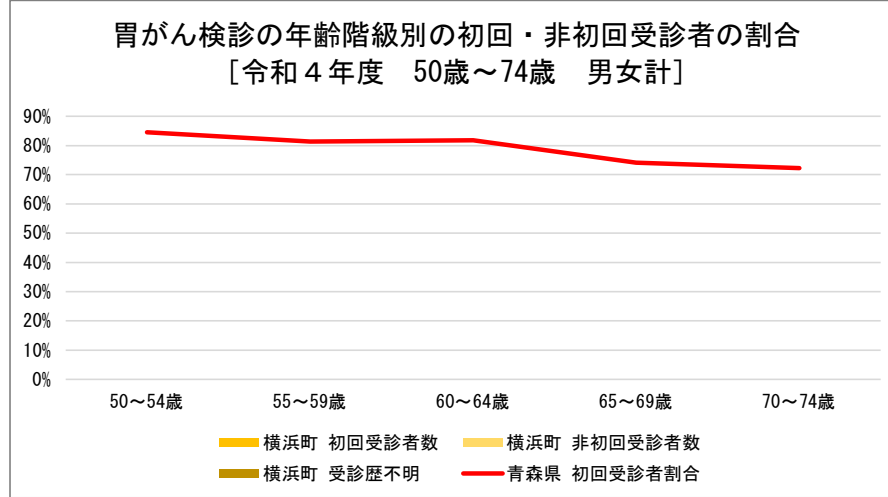
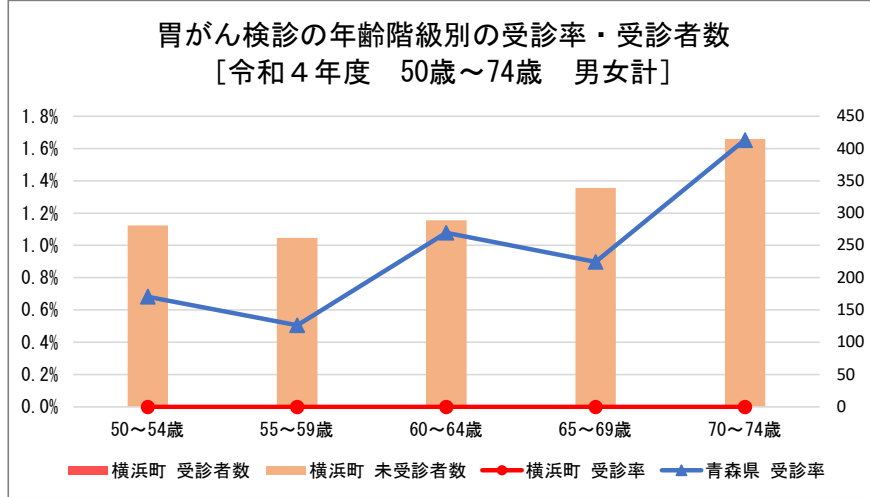
<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率 [令和4年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	1.4%	0.7%	0.7%	2.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2位	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	812,145	4,615	1,022	3,547	0	39	0	7	1,022	3,393	0	0	0	0	0	0	0	74
対象者数	59,203,380	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	10.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	1位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	0	0	0	0	39	0	63	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
受診者数	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。
 ※2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

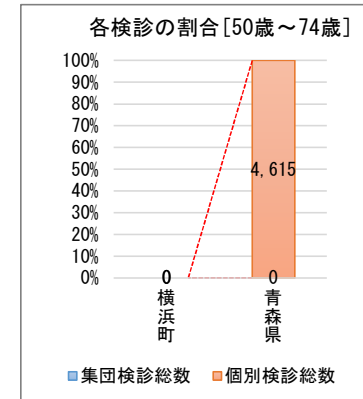
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分	対象者数	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳	50～74歳
横浜市	対象者数	/	/	281	262	289	339	415	1,031		2,617	1,171	1,586
横浜市	受診者数	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	初回受診者数	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	非初回受診者数	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	受診歴不明	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	受診率	/	/	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青森県	対象者数	/	/	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		682,086	354,161	462,061
青森県	受診者数	/	/	593	417	967	855	1,783	905	955	6,475	2,832	4,615
青森県	初回受診者数	/	/	501	339	791	634	1,288	682	767	5,002	2,265	3,553
青森県	非初回受診者数	/	/	87	69	168	199	469	203	168	1,363	523	992
青森県	受診歴不明	/	/	5	9	8	22	26	20	20	110	44	70
青森県	受診率	/	/	0.7%	0.5%	1.1%	0.9%	1.7%	0.8%		0.9%	0.8%	1.0%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙5とは対象年度が異なる点に留意)

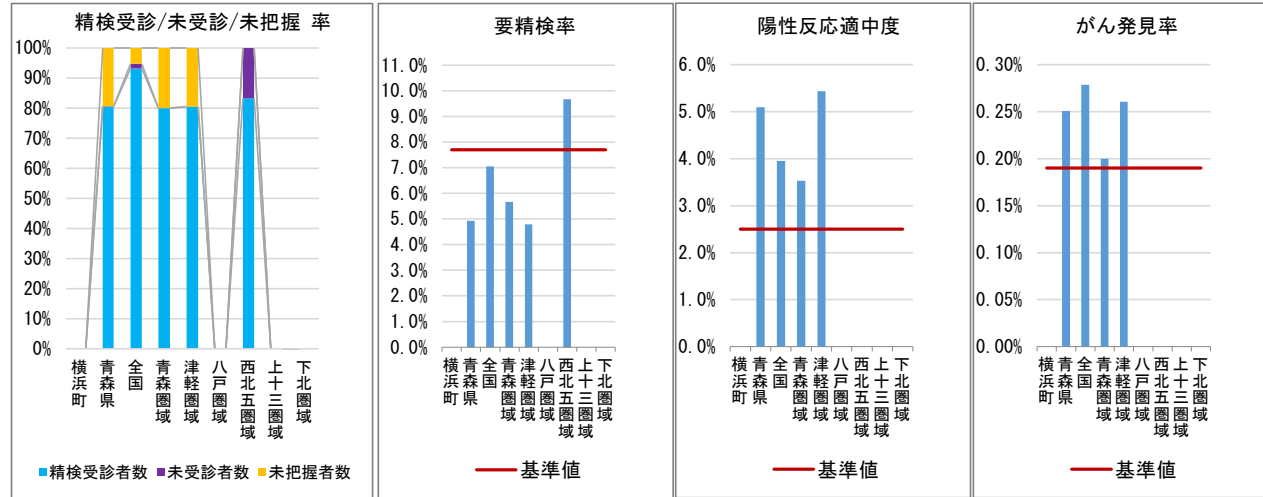
別紙5_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 胃がん検診(胃部内視鏡) プロセス指標-受診率を除く-

自治体名 **横浜市**

1. 胃がん検診(胃部内視鏡)のプロセス指標(受診率を除く)



<胃がん検診(胃部内視鏡)のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計]>

区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	0	11,561	2,252,243	1,501	9,985	0	62	0	13	—
要精検者数	0	569	158,829	85	478	0	6	0	0	—
未把握者数	0	110	8,183	17	93	0	0	0	0	—
未受診者数	0	1	2,472	0	0	0	1	0	0	—
精検受診者数	0	458	145,397	68	385	0	5	0	0	—
がんであった者	0	29	6,277	3	26	0	0	0	0	—
要精検率	0.0%	4.9%	7.1%	5.7%	4.8%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	7.7% 以下
精検受診率	0.0%	80.5%	91.5%	80.0%	80.5%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	90% 以上
未受診率+未把握率	0.0%	19.5%	6.7%	20.0%	19.5%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	10% 以下
陽性反応適中度	0.0%	5.1%	4.0%	3.5%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5% 以上
がん発見率	0.00%	0.25%	0.28%	0.20%	0.26%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.19% 以上

指標の意義・一般的な対策

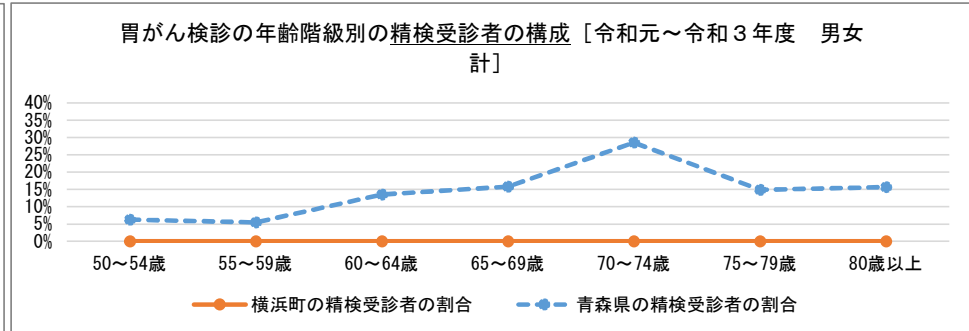
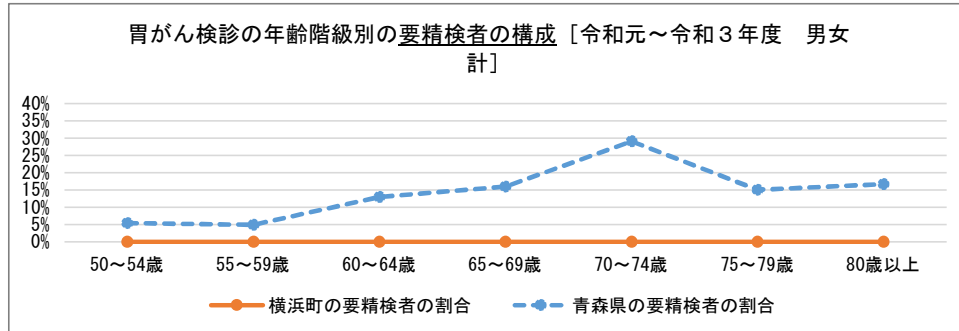
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

自治体名 横浜市

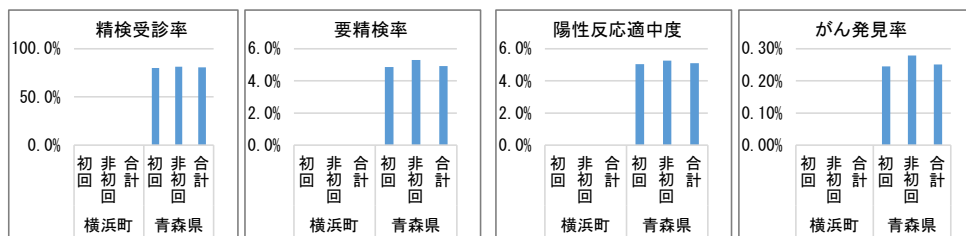
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率〔令和元～令和3年度 男女計〕>

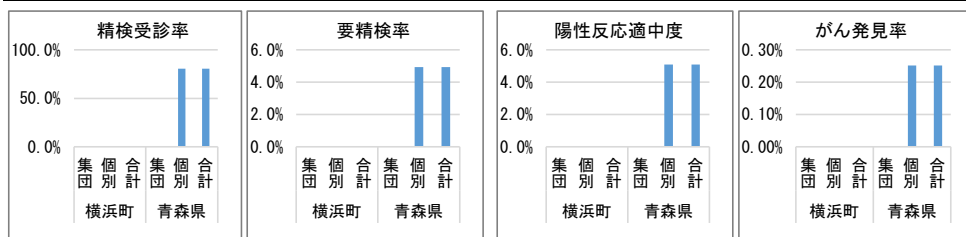
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～74歳
横浜市 要精検者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市 精検受診者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市 精検受診率			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青森県 要精検者数			45	41	108	133	242	125	139	833	569
青森県 精検受診者数			41	36	89	104	188	98	103	659	458
青森県 精検受診率			91.1%	87.8%	82.4%	78.2%	77.7%	78.4%	74.1%	79.1%	80.5%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診歴別のプロセス指標〔令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計〕>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 初回	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 非初回	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 合計	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県 初回	8,159	397	318	20	4.9%	80.1%	5.0%	0.25%
青森県 非初回	3,224	171	139	9	5.3%	81.3%	5.3%	0.28%
青森県 合計	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の検診方式別のプロセス指標〔令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計〕>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 合計	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県 個別検診	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%
青森県 合計	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%

〔出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告〕

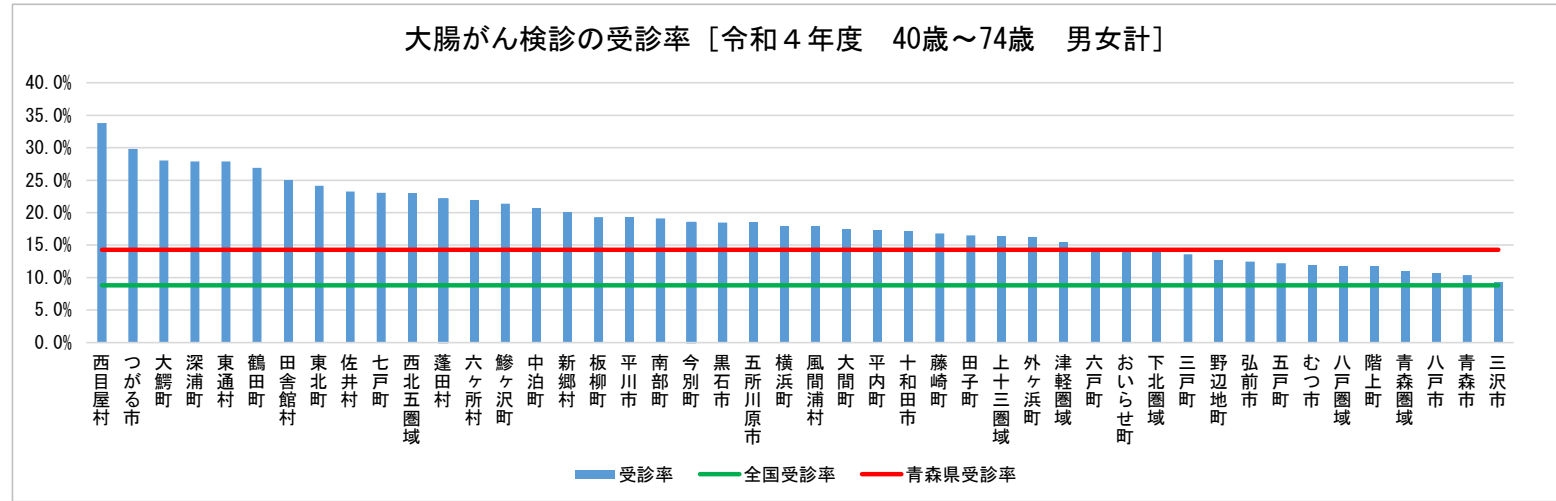
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和4年度 大腸がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名 **横浜町**

1. 大腸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

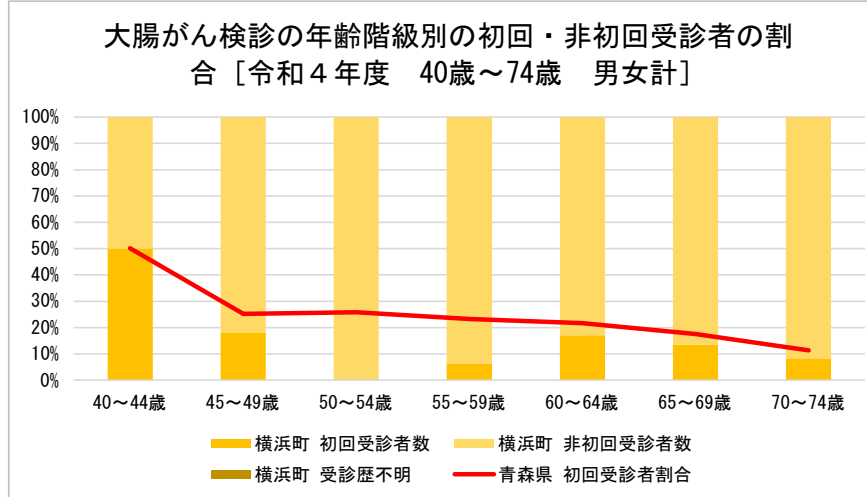
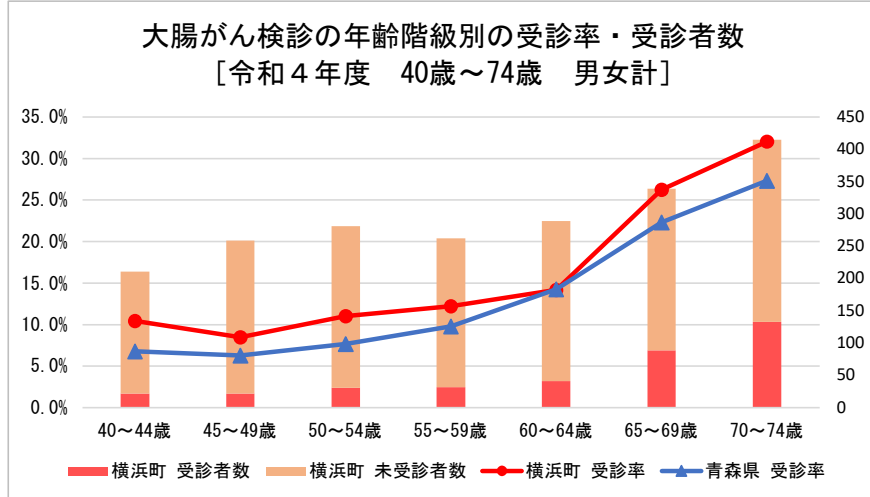
<大腸がん検診の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.8%	14.3%	10.9%	15.5%	11.8%	23.1%	16.5%	14.2%	10.4%	12.5%	10.6%	18.5%	18.5%	17.1%	9.3%	11.9%	29.8%	19.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	39位	34位	38位	20位	21位	26位	40位	36位	2位	17位
受診者数	5,225,663	88,551	16,445	20,942	18,289	14,238	13,604	5,033	14,480	10,122	11,645	3,006	4,922	5,188	1,681	3,330	4,471	2,922
対象者数	59,304,767	620,271	150,336	135,405	154,708	61,736	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,654	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	17.4%	18.5%	22.1%	16.2%	21.4%	27.9%	33.8%	16.8%	28.1%	25.0%	19.3%	26.9%	20.6%	12.7%	23.1%	14.5%	18.0%	24.1%
順位	25位	19位	11位	29位	13位	4位	1位	27位	3位	7位	16位	6位	14位	33位	10位	30位	22位	8位
受診者数	979	216	297	473	1,037	1,080	202	1,211	1,283	926	1,270	1,636	1,092	805	1,772	781	370	1,986
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	21.9%	14.5%	17.5%	27.9%	17.9%	23.2%	13.6%	12.2%	16.5%	19.1%	11.8%	20.1%						
順位	12位	31位	24位	5位	23位	9位	32位	35位	28位	18位	37位	15位						
受診者数	1,021	1,825	455	858	167	223	647	1,009	434	1,674	828	227						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]
受診者数÷対象者数=受診率
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

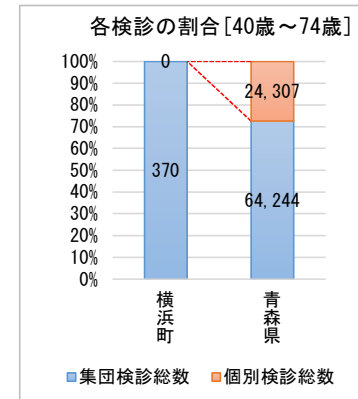
2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
横浜市	対象者数	211	259	281	262	289	339	415	1,031		3,087	1,641	2,056
横浜市	受診者数	22	22	31	32	41	89	133	104	96	570	237	370
横浜市	初回受診者数	11	4	0	2	7	12	11	10	6	63	36	47
横浜市	非初回受診者数	11	18	31	30	34	77	122	94	90	507	201	323
横浜市	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	受診率	10.4%	8.5%	11.0%	12.2%	14.2%	26.3%	32.0%	19.4%	18.5%	18.5%	14.4%	18.0%
青森県	対象者数	72,772	85,438	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,023		840,294	512,371	620,271
青森県	受診者数	4,935	5,369	6,656	8,074	12,786	21,233	29,498	20,446	18,071	127,068	59,053	88,551
青森県	初回受診者数	2,472	1,353	1,719	1,874	2,772	3,717	3,349	2,225	2,082	21,563	13,907	17,256
青森県	非初回受診者数	2,430	3,976	4,898	6,148	9,949	17,384	25,976	18,144	15,913	104,818	44,785	70,761
青森県	受診歴不明	33	40	39	52	65	132	173	77	76	687	361	534
青森県	受診率	6.8%	6.3%	7.7%	9.8%	14.3%	22.3%	27.3%	17.5%	15.1%	15.1%	11.5%	14.3%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※50代及び60代の節目年齢を対象に、大腸がん検診未受診者対策事業を実施した市町村が8市町村ある。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」 (別紙6とは対象年度が異なる点に留意)

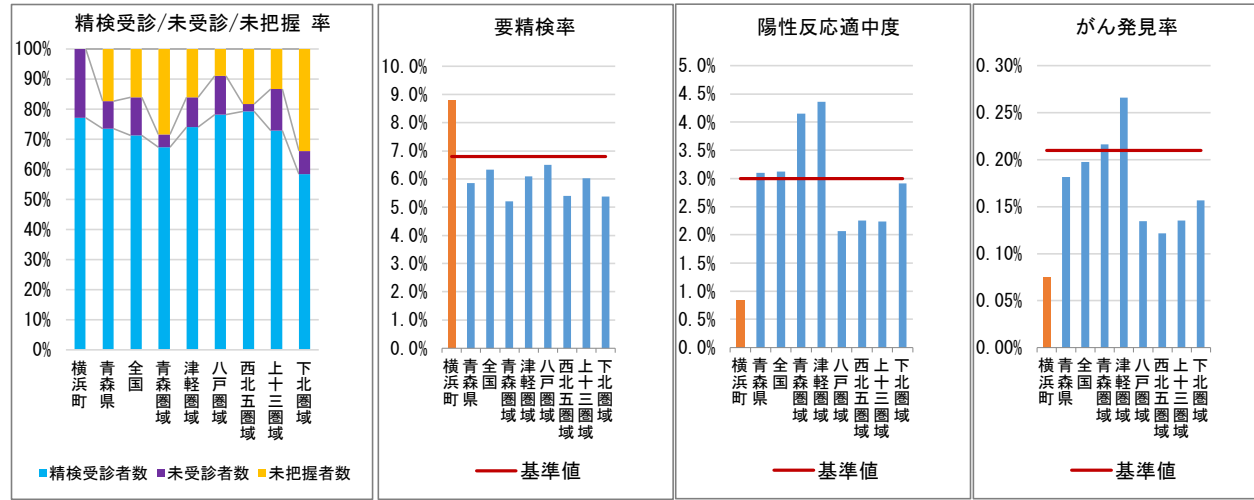
別紙6_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名 **横浜市**

1. 大腸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



<大腸がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>

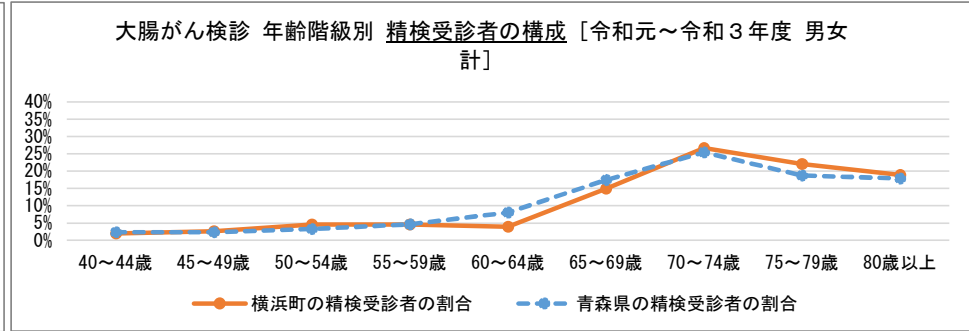
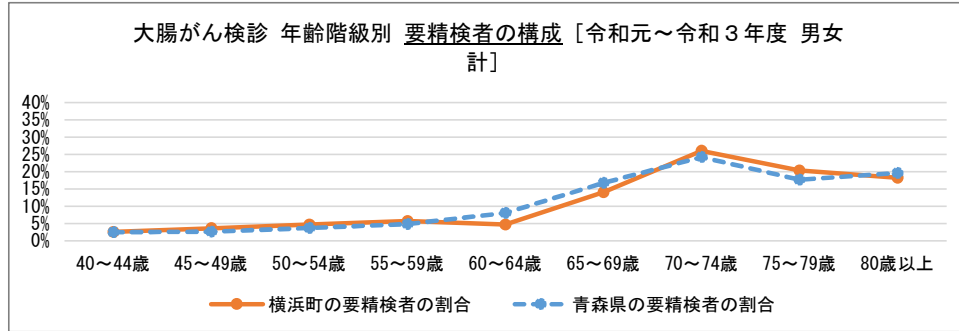
区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	1,343	275,073	16,139,128	53,627	66,196	55,776	41,919	42,238	15,317	—
要精検者数	118	16,093	1,021,353	2,794	4,035	3,631	2,264	2,545	824	—
未把握者数	0	2,798	164,975	794	651	324	413	337	279	—
未受診者数	27	1,459	128,579	118	395	470	58	354	64	—
精検受診者数	91	11,836	727,799	1,882	2,989	2,837	1,793	1,854	481	—
がんであった者	1	499	31,880	116	176	75	51	57	24	—
要精検率	8.8%	5.9%	6.3%	5.2%	6.1%	6.5%	5.4%	6.0%	5.4%	6.8% 以下
精検受診率	77.1%	73.5%	71.3%	67.4%	74.1%	78.1%	79.2%	72.8%	58.4%	90% 以上
未受診率+未把握率	22.9%	26.5%	28.7%	32.6%	25.9%	21.9%	20.8%	27.2%	41.6%	10% 以下
陽性反応適中度	0.8%	3.1%	3.1%	4.2%	4.4%	2.1%	2.3%	2.2%	2.9%	3.0% 以上
がん発見率	0.07%	0.18%	0.20%	0.22%	0.27%	0.13%	0.12%	0.13%	0.16%	0.21% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

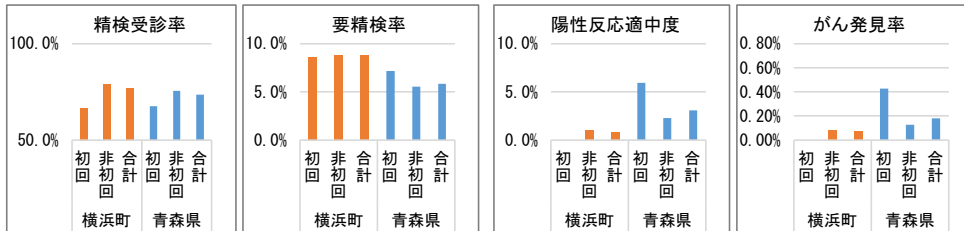
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 男女計] >

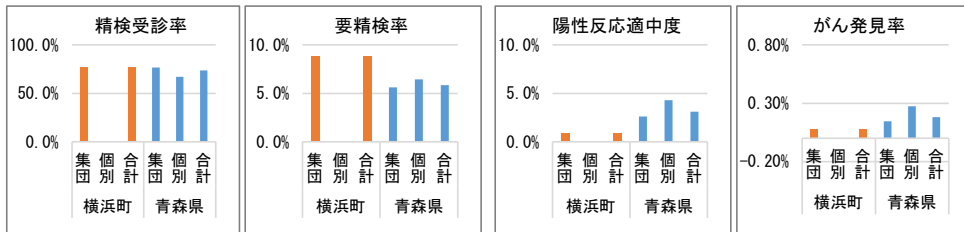
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳	
横浜市	要精検者数	5	7	9	11	9	27	50	39	35	192	118
横浜市	精検受診者数	3	4	7	7	6	23	41	34	29	154	91
横浜市	精検受診率	60.0%	57.1%	77.8%	63.6%	66.7%	85.2%	82.0%	87.2%	82.9%	80.2%	77.1%
青森県	要精検者数	645	671	961	1,249	2,061	4,292	6,214	4,544	5,038	25,675	16,093
青森県	精検受診者数	433	431	611	858	1,503	3,255	4,745	3,500	3,339	18,675	11,836
青森県	精検受診率	67.1%	64.2%	63.6%	68.7%	72.9%	75.8%	76.4%	77.0%	66.3%	72.7%	73.5%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
横浜市	初回	174	15	10	0	8.6%	66.7%	0.0%	0.00%
横浜市	非初回	1,169	103	81	1	8.8%	78.6%	1.0%	0.09%
横浜市	合計	1,343	118	91	1	8.8%	77.1%	0.8%	0.07%
青森県	初回	49,076	3,525	2,382	210	7.2%	67.6%	6.0%	0.43%
青森県	非初回	221,846	12,296	9,290	282	5.5%	75.6%	2.3%	0.13%
青森県	合計	275,073	16,093	11,836	499	5.9%	73.5%	3.1%	0.18%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
横浜市	集団検診	1,343	118	91	1	8.8%	77.1%	0.8%	0.07%
横浜市	個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市	合計	1,343	118	91	1	8.8%	77.1%	0.8%	0.07%
青森県	集団検診	199,768	11,240	8,590	292	5.6%	76.4%	2.6%	0.15%
青森県	個別検診	75,305	4,853	3,246	207	6.4%	66.9%	4.3%	0.27%
青森県	合計	275,073	16,093	11,836	499	5.9%	73.5%	3.1%	0.18%

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

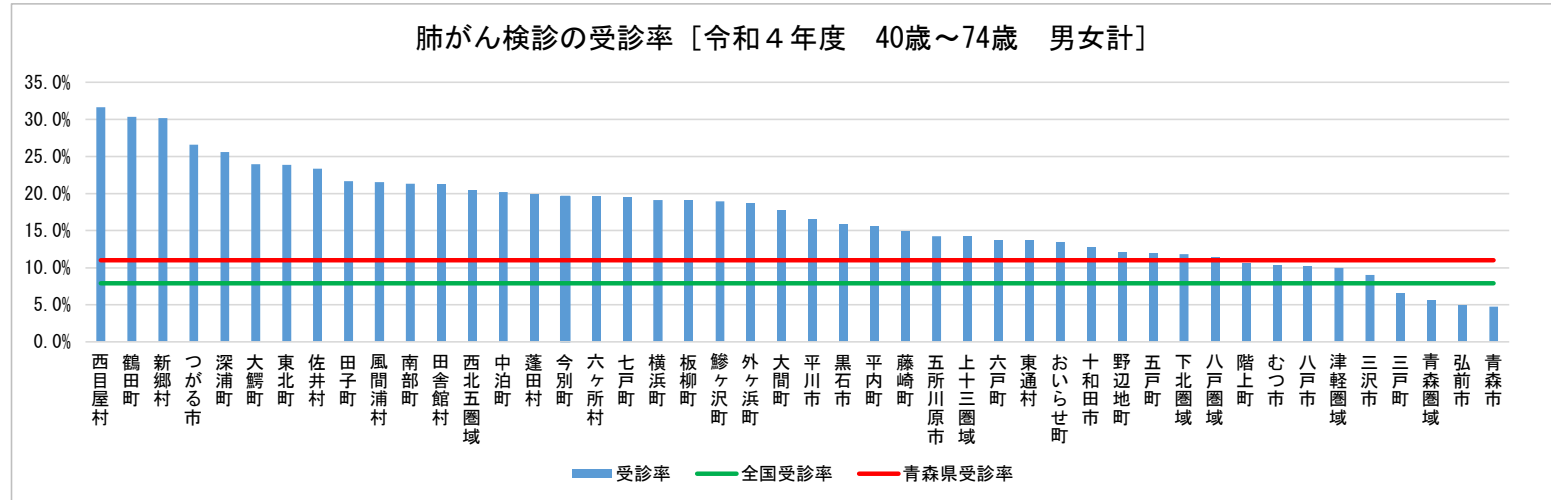
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和4年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	横浜市
------	-----

1. 肺がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別(初回・非初回別)の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制(キャパシティ、利便性等)の改善について検討が必要です。

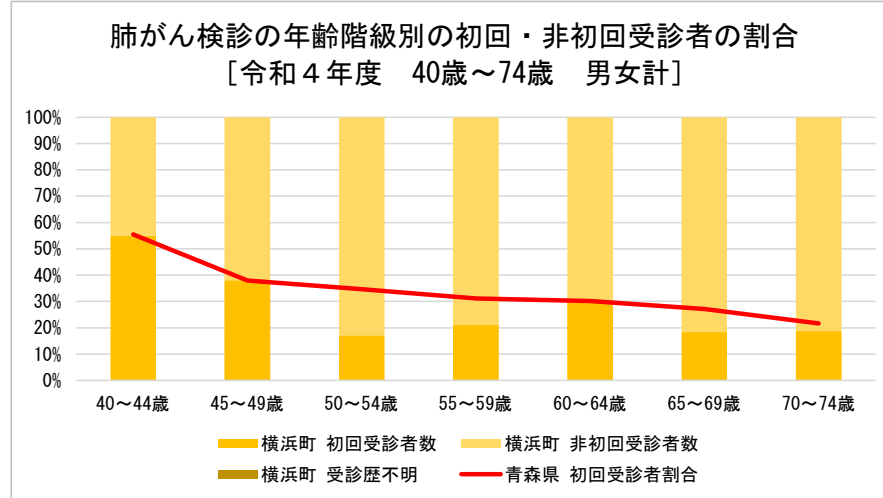
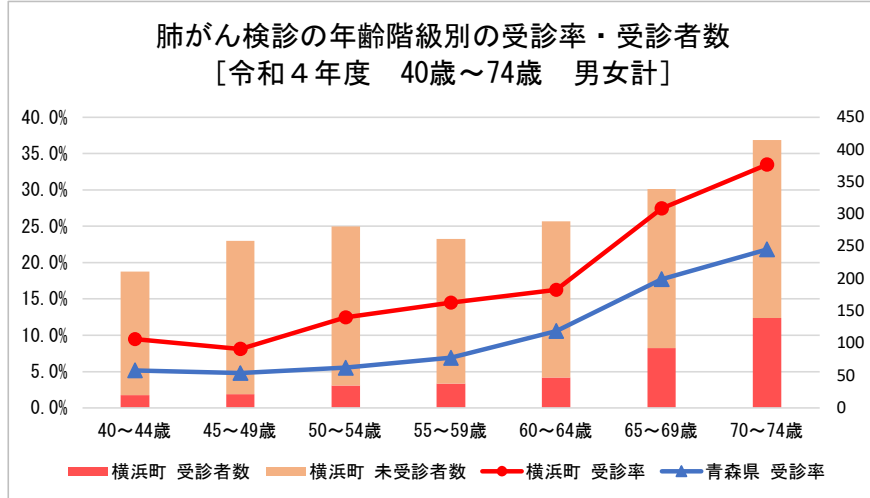
<肺がん検診の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	7.9%	11.0%	5.7%	10.0%	11.4%	20.4%	14.2%	11.8%	4.7%	4.9%	10.2%	15.9%	14.2%	12.7%	9.0%	10.3%	26.6%	16.6%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	36位	24位	27位	31位	37位	35位	4位	23位
受診者数	4,698,356	68,261	8,529	13,503	17,684	12,607	11,748	4,190	6,614	4,010	11,174	2,579	3,796	3,859	1,625	2,885	3,988	2,519
対象者数	59,297,773	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鯉ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	15.5%	19.6%	19.9%	18.7%	19.0%	25.6%	31.7%	14.9%	23.9%	21.3%	19.0%	30.3%	20.2%	12.1%	19.4%	13.7%	19.1%	23.9%
順位	25位	15位	14位	21位	20位	5位	1位	26位	6位	12位	19位	2位	13位	32位	17位	28位	18位	7位
受診者数	873	229	267	546	920	990	189	1,073	1,094	786	1,253	1,844	1,069	769	1,491	735	393	1,962
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	19.6%	13.5%	17.8%	13.6%	21.5%	23.3%	6.5%	11.9%	21.7%	21.3%	10.6%	30.2%						
順位	16位	30位	22位	29位	10位	8位	38位	33位	9位	11位	34位	3位						
受診者数	914	1,691	461	419	201	224	311	988	570	1,867	742	341						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
横浜市	対象者数	211	259	281	262	289	339	415	1,031		3,087	1,641	2,056
横浜市	受診者数	20	21	35	38	47	93	139	99	99	591	254	393
横浜市	初回受診者数	11	8	6	8	14	17	26	16	16	122	64	90
横浜市	非初回受診者数	9	13	29	30	33	76	113	83	83	469	190	303
横浜市	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市	受診率	9.5%	8.1%	12.5%	14.5%	16.3%	27.4%	33.5%	19.2%		19.1%	15.5%	19.1%
青森県	対象者数	72,772	85,437	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		840,295	512,370	620,270
青森県	受診者数	3,755	4,098	4,810	5,696	9,506	16,868	23,528	15,418	12,299	95,978	44,733	68,261
青森県	初回受診者数	2,083	1,554	1,670	1,772	2,866	4,571	5,101	3,405	2,841	25,863	14,516	19,617
青森県	非初回受診者数	1,643	2,508	3,097	3,878	6,570	12,175	18,266	11,944	9,387	69,468	29,871	48,137
青森県	受診歴不明	29	36	43	46	70	122	161	69	71	647	346	507
青森県	受診率	5.2%	4.8%	5.5%	6.9%	10.6%	17.7%	21.8%	12.6%		11.4%	8.7%	11.0%

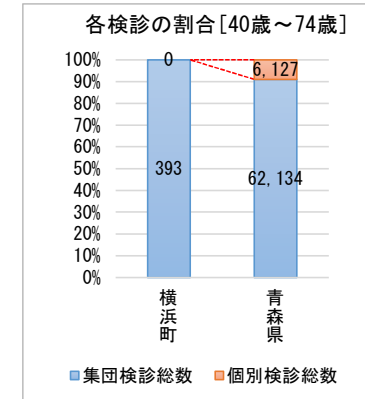
※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」 (別紙7とは対象年度が異なる点に留意)

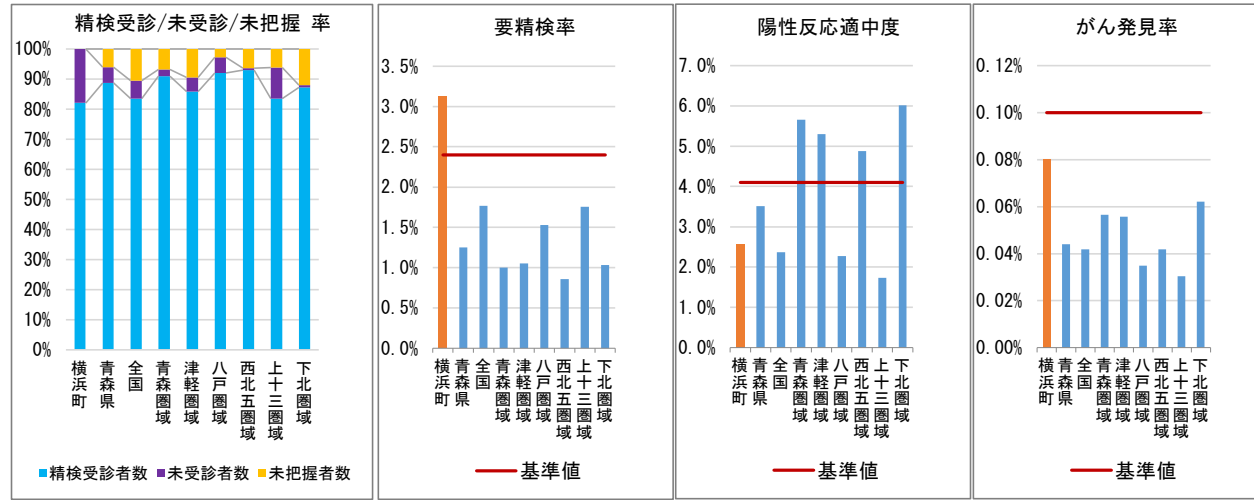
別紙7_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	横浜市
------	-----

1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



指標の意義・一般的な対策	
<p>精検受診率 未受診率 未把握率</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
<p>要精検率</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
<p>陽性反応適中度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
<p>がん発見率</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

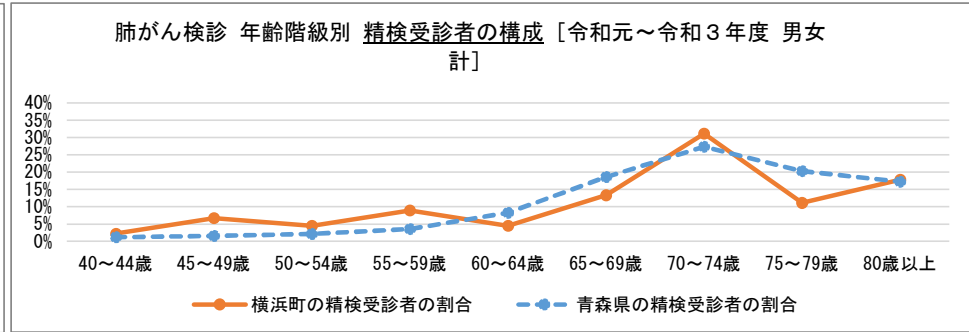
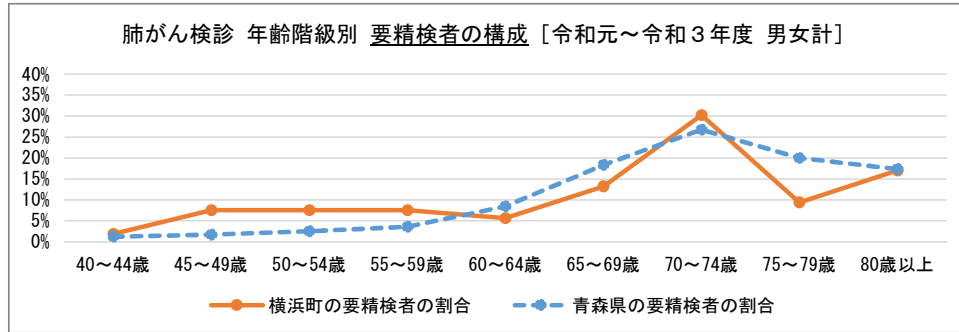
< 肺がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	1,248	211,458	14,394,133	26,514	43,091	54,521	38,206	36,234	12,892	—
要精検者数	39	2,649	254,399	265	453	834	328	636	133	—
未把握者数	0	160	26,930	18	43	23	21	39	16	—
未受診者数	7	140	15,136	6	21	44	2	66	1	—
精検受診者数	32	2,349	212,333	241	389	767	305	531	116	—
がんであった者	1	93	6,027	15	24	19	16	11	8	—
要精検率	3.1%	1.3%	1.8%	1.0%	1.1%	1.5%	0.9%	1.8%	1.0%	2.4% 以下
精検受診率	82.1%	88.7%	83.5%	90.9%	85.9%	92.0%	93.0%	83.5%	87.2%	90% 以上
未受診率+未把握率	17.9%	5.3%	5.9%	2.3%	4.6%	5.3%	0.6%	10.4%	0.8%	10% 以下
陽性反応適中度	2.6%	3.5%	2.4%	5.7%	5.3%	2.3%	4.9%	1.7%	6.0%	4.1% 以上
がん発見率	0.08%	0.04%	0.04%	0.06%	0.06%	0.03%	0.04%	0.03%	0.06%	0.10% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

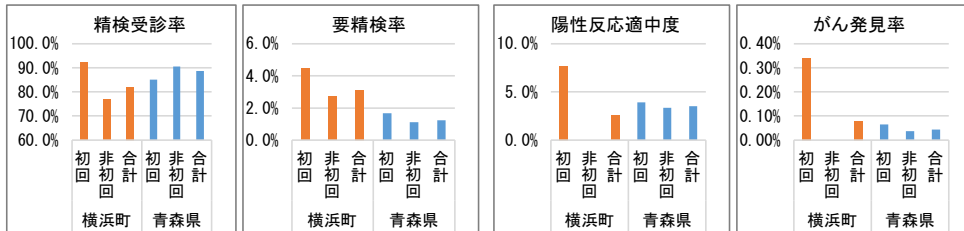
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 男女計]>

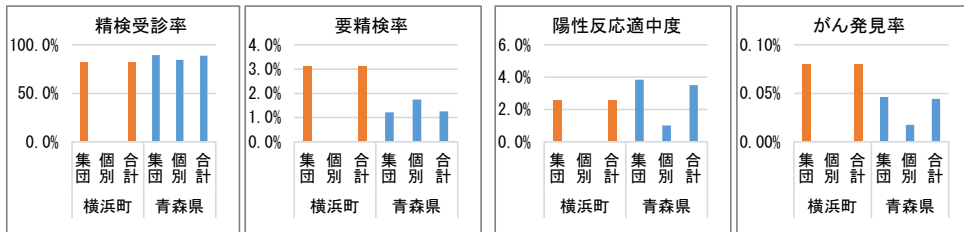
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳	
横浜市	要精検者数	1	4	4	4	3	7	16	5	9	53	39
横浜市	精検受診者数	1	3	2	4	2	6	14	5	8	45	32
横浜市	精検受診率	100.0%	75.0%	50.0%	100.0%	66.7%	85.7%	87.5%	100.0%	88.9%	84.9%	82.1%
青森県	要精検者数	52	72	107	153	359	775	1,131	844	734	4,227	2,649
青森県	精検受診者数	44	59	81	132	309	697	1,027	763	647	3,759	2,349
青森県	精検受診率	84.6%	81.9%	75.7%	86.3%	86.1%	89.9%	90.8%	90.4%	88.1%	88.9%	88.7%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
横浜市	初回	293	13	12	1	4.4%	92.3%	7.7%	0.34%
横浜市	非初回	955	26	20	0	2.7%	76.9%	0.0%	0.00%
横浜市	合計	1,248	39	32	1	3.1%	82.1%	2.6%	0.08%
青森県	初回	53,124	892	760	35	1.7%	85.2%	3.9%	0.07%
青森県	非初回	154,343	1,702	1,540	57	1.1%	90.5%	3.3%	0.04%
青森県	合計	211,458	2,649	2,349	93	1.3%	88.7%	3.5%	0.04%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
横浜市	集団検診	1,248	39	32	1	3.1%	82.1%	2.6%	0.08%
横浜市	個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市	合計	1,248	39	32	1	3.1%	82.1%	2.6%	0.08%
青森県	集団検診	194,376	2,352	2,098	90	1.2%	89.2%	3.8%	0.05%
青森県	個別検診	17,082	297	251	3	1.7%	84.5%	1.0%	0.02%
青森県	合計	211,458	2,649	2,349	93	1.3%	88.7%	3.5%	0.04%

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

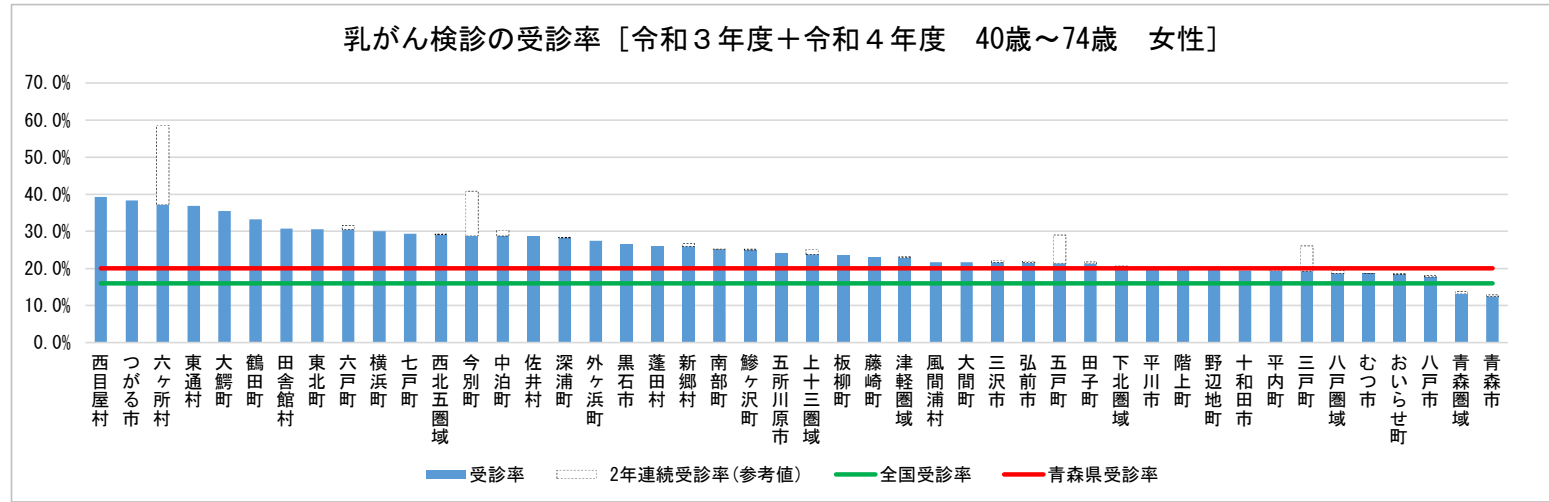
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和4年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	横浜市
------	-----

1. 乳がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

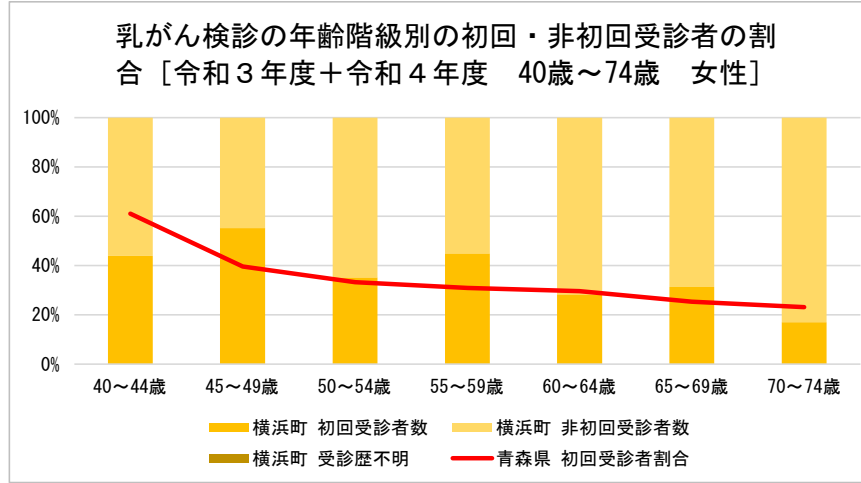
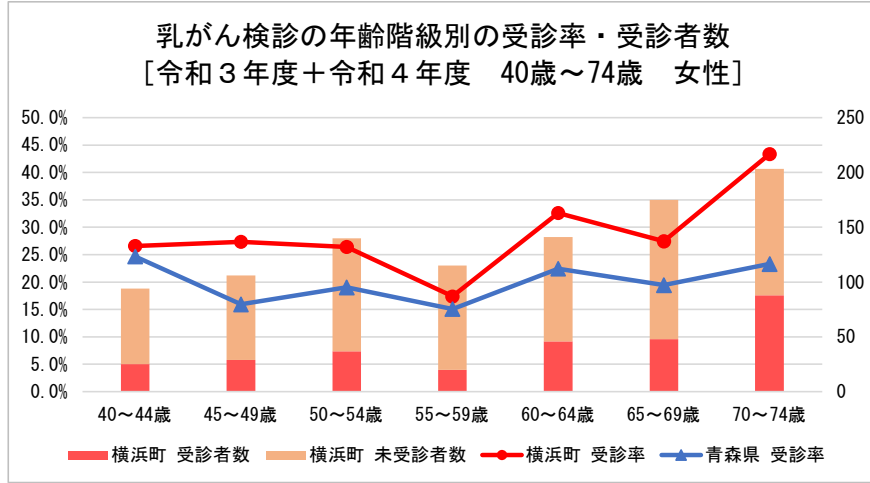
<乳がん検診の受診率 [令和3年度+令和4年度 40歳~74歳 女性]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	16.0%	20.1%	13.2%	22.9%	18.6%	29.1%	23.8%	20.6%	12.5%	21.5%	17.7%	26.7%	24.1%	19.4%	21.6%	18.6%	38.3%	19.9%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	28位	39位	17位	22位	34位	27位	37位	2位	31位
受診者数	4,764,098	63,812	10,348	16,235	14,626	9,233	9,742	3,628	9,081	9,270	9,985	2,259	3,386	2,976	1,929	2,630	2,923	1,549
対象者数	29,803,708	317,840	78,156	70,836	78,556	31,724	40,947	17,621	72,718	43,046	56,338	8,468	14,041	15,323	8,947	14,127	7,628	7,782
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	19.4%	28.8%	26.0%	27.5%	24.9%	28.2%	39.2%	23.1%	35.5%	30.8%	23.5%	33.2%	28.8%	19.7%	29.4%	30.5%	30.1%	30.6%
順位	35位	12位	18位	16位	21位	15位	1位	24位	5位	7位	23位	6位	13位	33位	11位	9位	10位	8位
受診者数	539	160	178	390	612	537	111	845	826	573	802	1,015	760	631	1,102	790	293	1,227
対象者数	2,780	556	684	1,418	2,453	1,902	283	3,657	2,330	1,863	3,407	3,058	2,642	3,211	3,753	2,590	974	4,016
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	37.2%	18.4%	21.6%	36.9%	21.7%	28.7%	19.3%	21.4%	21.3%	25.1%	19.8%	25.9%						
順位	3位	38位	26位	4位	25位	14位	36位	29位	30位	20位	32位	19位						
受診者数	794	1,165	266	513	96	123	446	868	273	1,086	669	134						
対象者数	2,133	6,345	1,231	1,392	443	428	2,315	4,064	1,281	4,322	3,374	517						

[受診率の計算方法について]
 $(R4年度の受診者数 - R4年度の2年連続受診者数 + R3年度の受診者数) \div R4年度の対象者数 = 受診率$
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

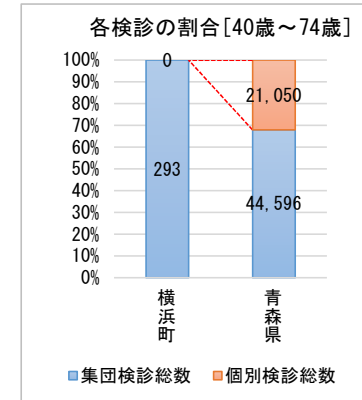
2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度+令和4年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
横浜町	対象者数	94	106	140	115	141	175	203			974	771	974
横浜町	受診者数	25	29	37	20	46	48	88	21	17	331	205	293
横浜町	初回受診者数	11	16	13	9	13	15	15	6	8	106	77	92
横浜町	非初回受診者数	14	13	24	11	33	33	73	15	9	225	128	201
横浜町	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜町	受診率	26.6%	27.4%	26.4%	17.4%	32.6%	27.4%	43.3%				26.6%	30.1%
青森県	対象者数	35,725	42,211	43,689	42,212	46,238	49,920	57,845			317,840	259,995	317,840
青森県	受診者数	8,803	6,737	8,314	6,372	10,380	9,712	13,494	5,218	3,502	72,532	50,318	63,812
青森県	初回受診者数	5,377	2,668	2,762	1,973	3,065	2,460	3,125	1,193	943	23,566	18,305	21,430
青森県	非初回受診者数	3,379	4,022	5,479	4,338	7,243	7,163	10,297	4,006	2,547	48,474	31,624	41,921
青森県	受診歴不明	47	47	73	61	72	89	72	19	12	492	389	461
青森県	受診率	24.6%	16.0%	19.0%	15.1%	22.4%	19.5%	23.3%				19.4%	20.1%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR3年度とR4年度の受診者数の合計からR4年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙8とは対象年度が異なる点に留意)

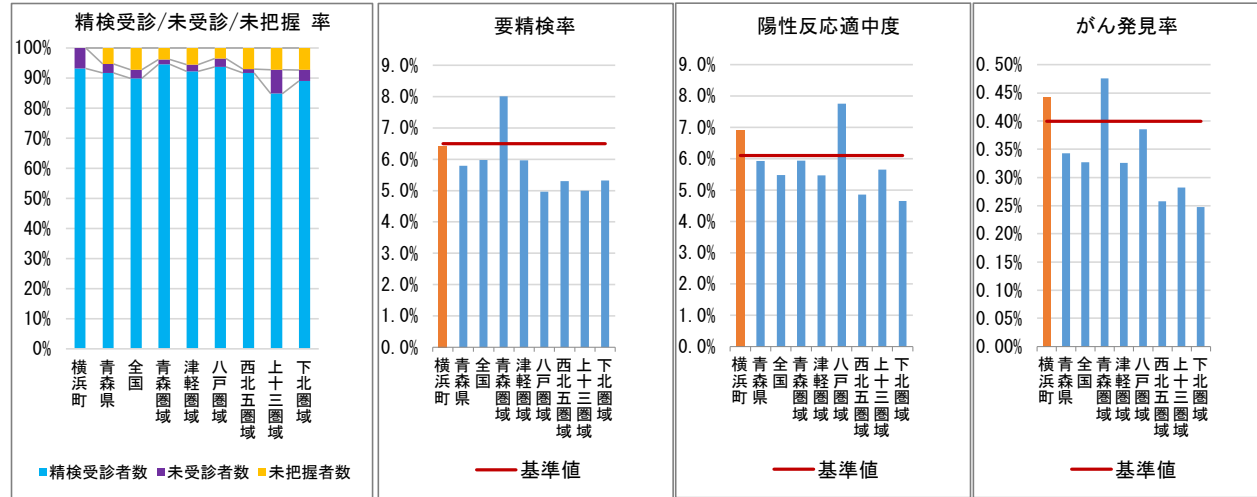
別紙8_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	横浜市
------	-----

1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

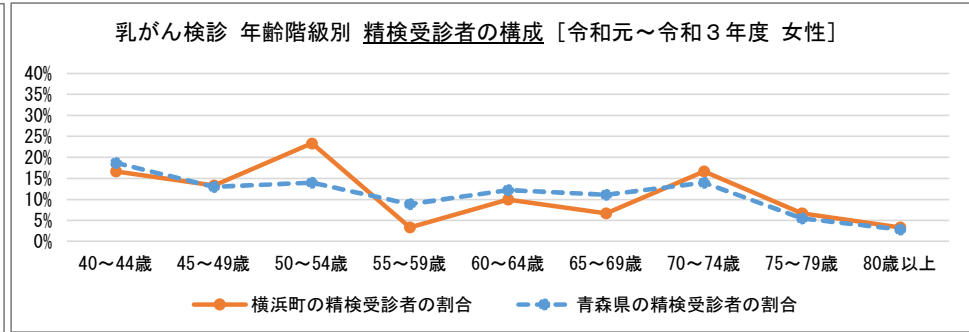
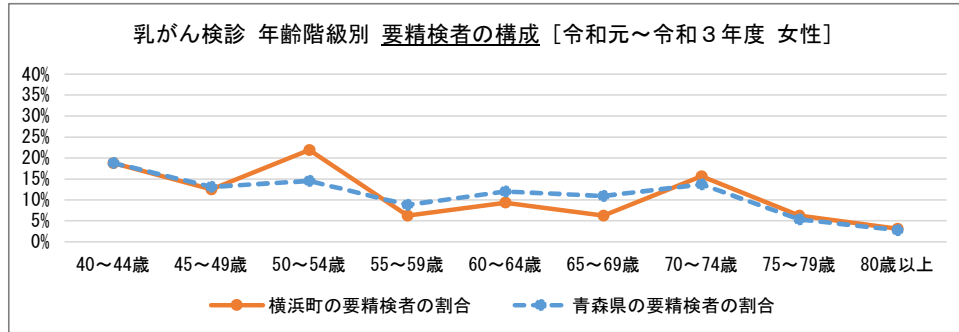
<乳がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>

区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	451	99,690	7,764,769	16,394	25,141	22,566	13,962	15,966	5,661	—
要精検者数	29	5,773	464,168	1,313	1,500	1,121	741	797	301	—
未把握者数	0	305	33,347	50	84	39	52	58	22	—
未受診者数	2	170	13,492	22	33	32	9	63	11	—
精検受診者数	27	5,298	417,329	1,241	1,383	1,050	680	676	268	—
がんであった者	2	342	25,405	78	82	87	36	45	14	—
要精検率	6.4%	5.8%	6.0%	8.0%	6.0%	5.0%	5.3%	5.0%	5.3%	6.5% 以下
精検受診率	93.1%	91.8%	89.9%	94.5%	92.2%	93.7%	91.8%	84.8%	89.0%	90% 以上
未受診率+未把握率	6.9%	8.2%	10.1%	5.5%	7.8%	6.3%	8.2%	15.2%	11.0%	10% 以下
陽性反応適中度	6.9%	5.9%	5.5%	5.9%	5.5%	7.8%	4.9%	5.6%	4.7%	6.1% 以上
がん発見率	0.44%	0.34%	0.33%	0.48%	0.33%	0.39%	0.26%	0.28%	0.25%	0.40% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

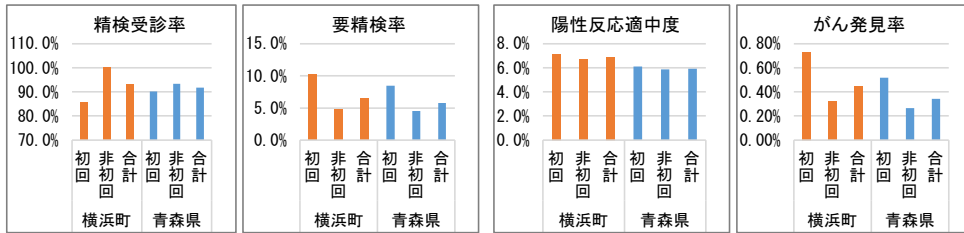
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 女性]>

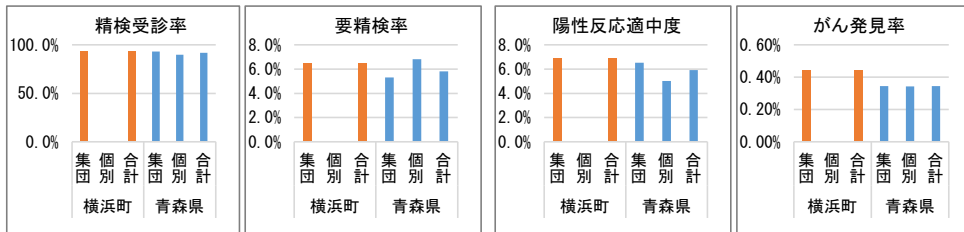
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
横浜市 要精検者数	6	4	7	2	3	2	5	2	1	32	29
横浜市 精検受診者数	5	4	7	1	3	2	5	2	1	30	27
横浜市 精検受診率	83.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	93.1%
青森県 要精検者数	1,181	824	911	555	754	688	860	336	175	6,284	5,773
青森県 精検受診者数	1,080	748	806	511	705	642	806	314	163	5,775	5,298
青森県 精検受診率	91.4%	90.8%	88.5%	92.1%	93.5%	93.3%	93.7%	93.5%	93.1%	91.9%	91.8%

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 初回	137	14	12	1	10.2%	85.7%	7.1%	0.73%
横浜市 非初回	314	15	15	1	4.8%	100.0%	6.7%	0.32%
横浜市 合計	451	29	27	2	6.4%	93.1%	6.9%	0.44%
青森県 初回	31,855	2,696	2,430	165	8.5%	90.1%	6.1%	0.52%
青森県 非初回	66,264	2,998	2,799	176	4.5%	93.4%	5.9%	0.27%
青森県 合計	99,690	5,773	5,298	342	5.8%	91.8%	5.9%	0.34%

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 集団検診	451	29	27	2	6.4%	93.1%	6.9%	0.44%
横浜市 個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 合計	451	29	27	2	6.4%	93.1%	6.9%	0.44%
青森県 集団検診	66,583	3,519	3,274	229	5.3%	93.0%	6.5%	0.34%
青森県 個別検診	33,107	2,254	2,024	113	6.8%	89.8%	5.0%	0.34%
青森県 合計	99,690	5,773	5,298	342	5.8%	91.8%	5.9%	0.34%

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

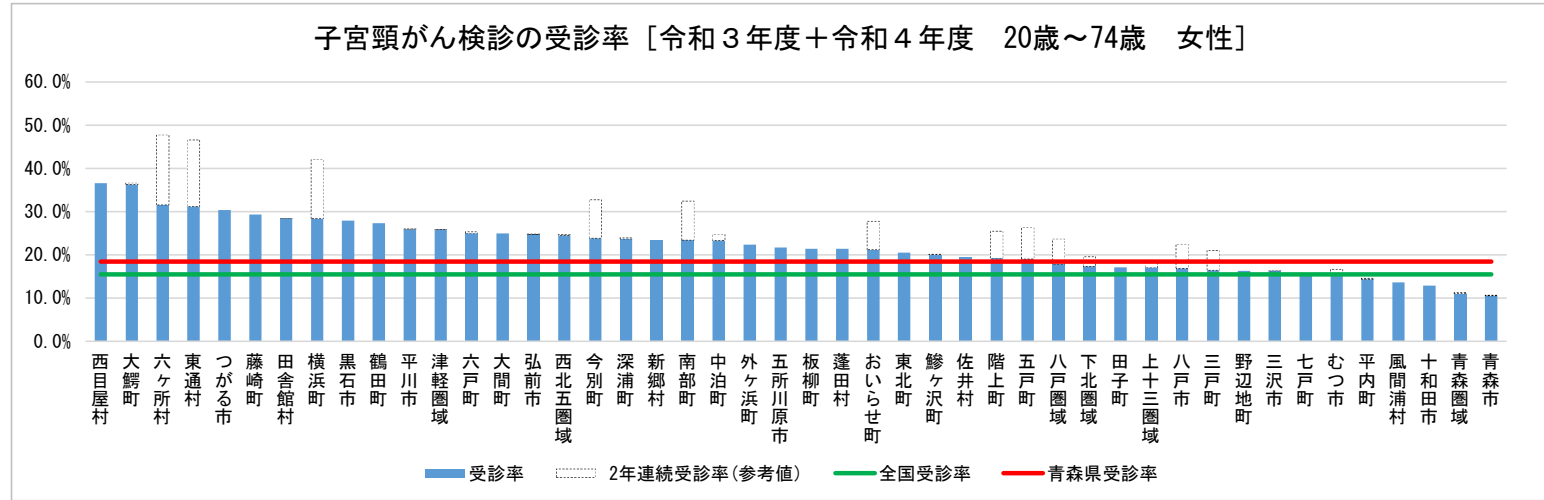
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和4年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	横浜町
------	-----

1. 子宮頸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- 受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- 性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- 特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

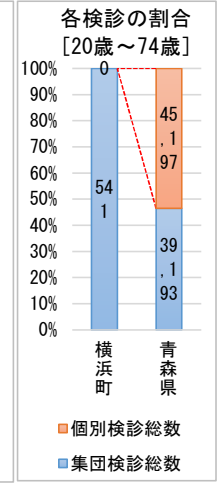
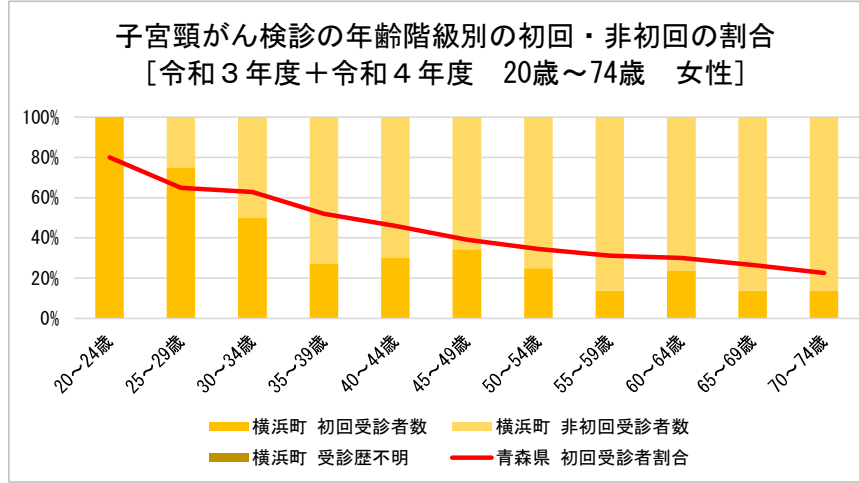
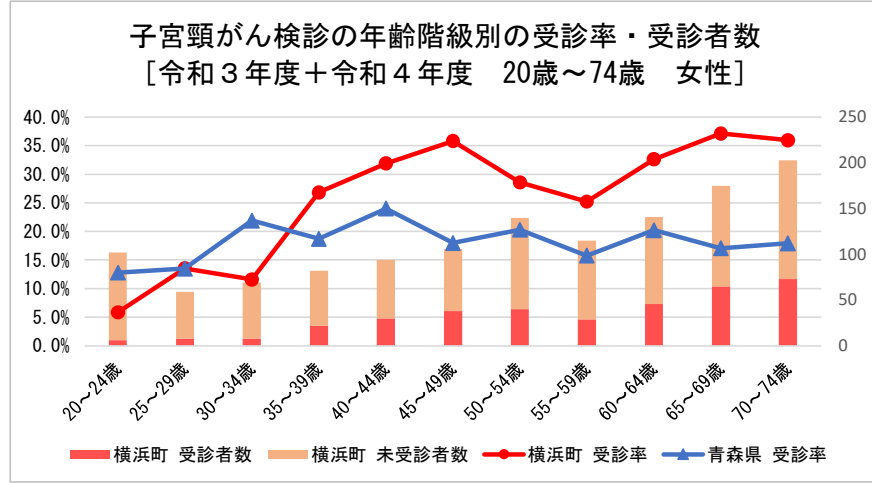
<子宮頸がん検診の受診率 [令和3年度+令和4年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.5%	18.5%	11.0%	25.8%	17.9%	24.5%	17.1%	17.4%	10.5%	24.8%	16.9%	27.9%	21.7%	12.9%	16.3%	15.4%	30.4%	26.0%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	14位	31位	9位	21位	39位	34位	36位	5位	11位
受診者数	6,632,378	76,925	11,313	24,242	18,421	9,909	9,265	3,947	10,122	14,284	12,563	3,081	3,890	2,588	2,060	2,824	3,068	2,666
対象者数	42,687,942	416,807	102,647	93,814	103,029	40,382	54,197	22,738	96,113	57,656	74,174	11,047	17,919	20,015	12,646	18,340	10,105	10,263
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鯉ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	14.4%	23.9%	21.4%	22.4%	20.0%	23.7%	36.6%	29.3%	36.3%	28.4%	21.4%	27.3%	23.3%	16.4%	15.8%	25.0%	28.4%	20.5%
順位	37位	15位	23位	20位	26位	16位	1位	6位	2位	7位	22位	10位	19位	33位	35位	12位	8位	25位
受診者数	492	153	182	364	597	530	133	1,438	1,025	682	933	1,072	752	642	740	869	365	1,073
対象者数	3,414	641	851	1,628	2,979	2,235	363	4,903	2,825	2,399	4,358	3,922	3,222	3,923	4,681	3,478	1,286	5,229
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	31.6%	21.2%	25.0%	31.2%	13.6%	19.4%	16.5%	19.1%	17.1%	23.4%	19.2%	23.5%						
順位	3位	24位	13位	4位	38位	27位	32位	29位	30位	18位	28位	17位						
受診者数	928	1,853	388	565	73	97	471	973	268	1,301	842	150						
対象者数	2,939	8,749	1,555	1,809	535	499	2,863	5,098	1,566	5,563	4,377	639						

[受診率の計算方法について]
 $(R4年度の受診者数 - R4年度の2年連続受診者数 + R3年度の受診者数) \div R4年度の対象者数 = 受診率$
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度+令和4年度 女性]>

※初回受診者=過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者=過去3年間に受診歴がある者

区分		20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計	20~69歳	20~74歳
横浜町	対象者数	102	59	69	82	94	106	140	115	141	175	203	642	1,928	1,083	1,286	
横浜町	受診者数	6	8	8	22	30	38	40	29	46	65	73	25	18	408	292	365
横浜町	初回受診者数	6	6	4	6	9	13	10	4	11	9	10	4	3	95	78	88
横浜町	非初回受診者数	0	2	4	16	21	25	30	25	35	56	63	21	15	313	214	277
横浜町	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜町	受診率	5.9%	13.6%	11.6%	26.8%	31.9%	35.8%	28.6%	25.2%	32.6%	37.1%	36.0%	6.7%	21.2%	27.0%	28.4%	
青森県	対象者数	21,532	21,544	24,657	31,234	35,725	42,211	43,689	42,212	46,238	49,920	57,845	140,331	557,138	358,962	416,807	
青森県	受診者数	2,760	2,912	5,408	5,854	8,582	7,602	8,877	6,670	9,358	8,524	10,378	4,431	2,873	84,229	66,547	76,925
青森県	初回受診者数	2,206	1,888	3,397	3,036	3,940	2,974	3,068	2,079	2,819	2,261	2,340	1,050	803	31,861	27,668	30,008
青森県	非初回受診者数	514	953	1,903	2,717	4,529	4,518	5,709	4,510	6,437	6,159	7,945	3,348	2,053	51,295	37,949	45,894
青森県	受診歴不明	40	71	108	101	113	110	100	81	102	104	93	33	17	1,073	930	1,023
青森県	受診率	12.8%	13.5%	21.9%	18.7%	24.0%	18.0%	20.3%	15.8%	20.2%	17.1%	17.9%	5.2%	15.1%	18.5%	18.5%	

※受診者数はR3年度とR4年度の受診者数の合計からR4年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙9とは対象年度が異なる点に留意)

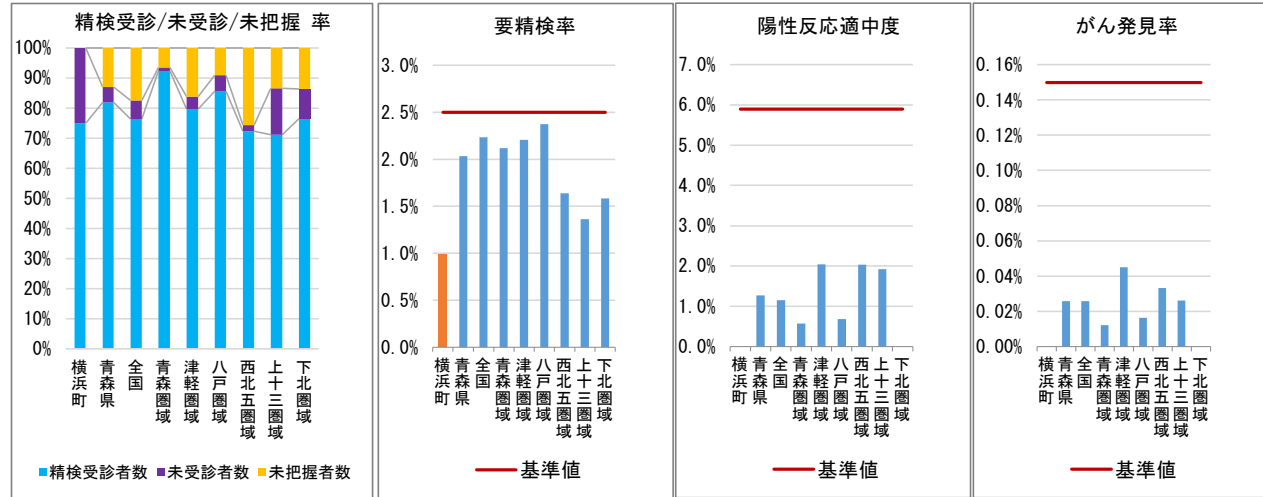
別紙9_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

令和元～令和3年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	横浜市
------	-----

1. 子宮頸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



指標の意義・一般的な対策

精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

<子宮頸がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性]>

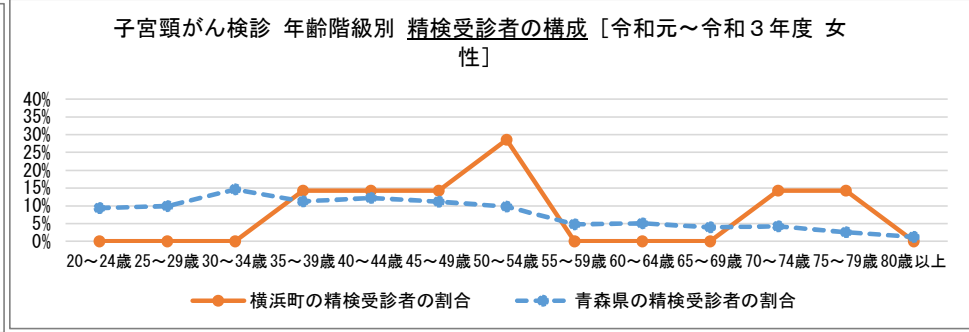
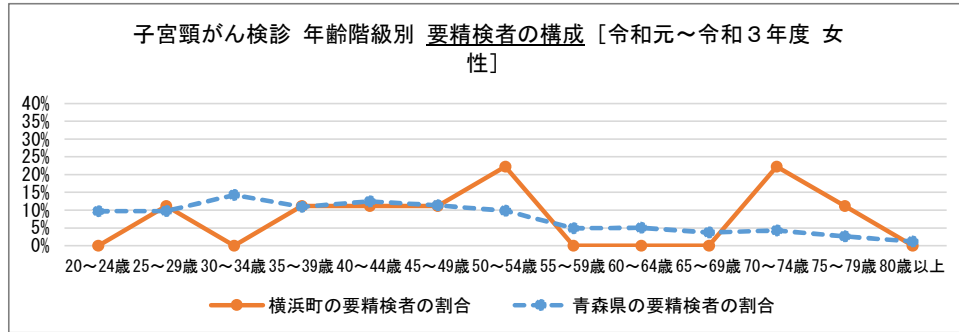
区分	横浜市	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値※
受診者数	812	127,474	11,341,914	16,521	35,495	36,818	15,023	15,274	8,343	—
要精検者数	8	2,593	253,507	350	783	874	246	208	132	—
未把握者数	0	338	44,232	23	127	79	63	28	18	—
未受診者数	2	132	15,714	4	32	46	5	32	13	—
精検受診者数	6	2,123	193,561	323	624	749	178	148	101	—
がんであった者	0	33	2,909	2	16	6	5	4	0	—
要精検率	1.0%	2.0%	2.2%	2.1%	2.2%	2.4%	1.6%	1.4%	1.6%	2.5% 以下
精検受診率	75.0%	81.9%	76.4%	92.3%	79.7%	85.7%	72.4%	71.2%	76.5%	90% 以上
未受診率+未把握率	25.0%	18.1%	23.6%	7.7%	20.3%	14.3%	27.6%	28.8%	23.5%	10% 以下
陽性反応適中度	0.0%	1.3%	1.1%	0.6%	2.0%	0.7%	2.0%	1.9%	0.0%	5.9% 以上
がん発見率	0.00%	0.03%	0.03%	0.01%	0.05%	0.02%	0.03%	0.03%	0.00%	0.15% 以上

※プロセス指標の数値は20～74歳までの者の値

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=(がん、AIS、CIN3であった者の和)÷要精検者数、●がん発見率=(がん、AIS、CIN3であった者の和)÷受診者数

自治体名 横浜市

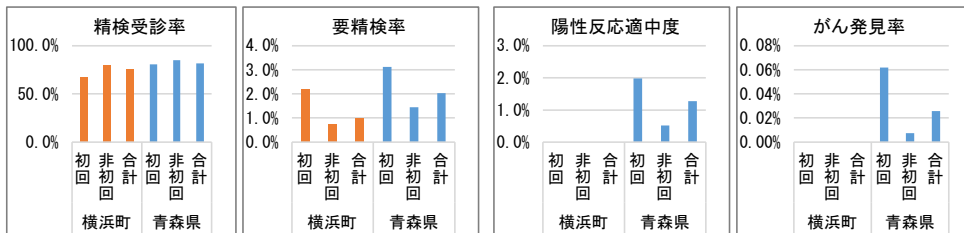
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 女性] >

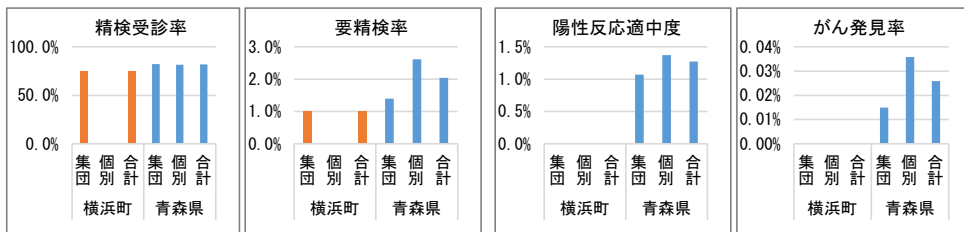
区分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率
横浜市	0	0	0.0%
青森県	262	207	79.0%
横浜市	1	0	0.0%
青森県	263	219	83.3%
横浜市	0	0	0.0%
青森県	384	322	83.9%
横浜市	1	1	100.0%
青森県	294	248	84.4%
横浜市	1	1	100.0%
青森県	336	269	80.1%
横浜市	1	1	100.0%
青森県	305	246	80.7%
横浜市	2	2	100.0%
青森県	264	215	81.4%
横浜市	0	0	0.0%
青森県	133	105	78.9%
横浜市	0	0	0.0%
青森県	135	111	82.2%
横浜市	0	0	0.0%
青森県	101	87	86.1%
横浜市	2	1	50.0%
青森県	116	94	81.0%
横浜市	1	1	100.0%
青森県	71	56	78.9%
横浜市	0	0	0.0%
青森県	32	27	84.4%
横浜市	9	7	77.8%
青森県	2,696	2,206	81.8%
横浜市	8	6	75.0%
青森県	2,593	2,123	81.9%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 初回	137	3	2	0	2.2%	66.7%	0.0%	0.00%
横浜市 非初回	675	5	4	0	0.7%	80.0%	0.0%	0.00%
横浜市 合計	812	8	6	0	1.0%	75.0%	0.0%	0.00%
青森県 初回	43,665	1,361	1,095	27	3.1%	80.5%	2.0%	0.06%
青森県 非初回	80,434	1,160	984	6	1.4%	84.8%	0.5%	0.01%
青森県 合計	127,474	2,593	2,123	33	2.0%	81.9%	1.3%	0.03%

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
横浜市 集団検診	812	8	6	0	1.0%	75.0%	0.0%	0.00%
横浜市 個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
横浜市 合計	812	8	6	0	1.0%	75.0%	0.0%	0.00%
青森県 集団検診	60,321	842	692	9	1.4%	82.2%	1.1%	0.01%
青森県 個別検診	67,153	1,751	1,431	24	2.6%	81.7%	1.4%	0.04%
青森県 合計	127,474	2,593	2,123	33	2.0%	81.9%	1.3%	0.03%